Panasonic®

操作マニュアル

パーソナルコンピューター

品番 CF-82 シリーズ

もくじ

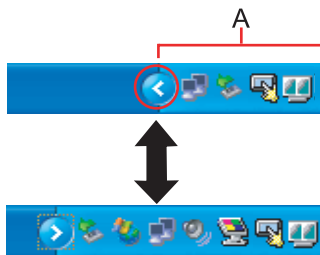
もくじの項目および文中の緑色表示部にカーソルを移動すると、カーソルが に変わります。
この状態でクリックすると、操作マニュアルの該当ページが表示されます。

上手に使って上手に節電

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
付属の取扱説明書と本マニュアルをよくお読みのうえ、正しくお使いください。

表記について

Enter	キーボードのEnterキーを押すことを意味します。
Ctrl + Esc	キーボードのCtrlキーを押しながら、Escキーを押すことを意味します。
[スタート]-[検索]	画面上の[スタート]をクリックした後、[検索]をクリックすることを意味します。内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。
☞	参照先（本書の参照ページやコンピューター本体に付属の『取扱説明書』など）を意味します。

- 本書では、一部を除いてフロッピーディスクドライブ・CDドライブが内蔵されたダブルディスプレイモデルを基本に説明しています。（フロッピーディスクドライブ・CDドライブを内蔵していないモデル、およびシングルディスプレイモデルをお持ちの方には、一部該当しない説明があります。）
- 本書では、コンピューターの管理者の権限でログオンした場合の手順や画面表示で説明しています。実行できない機能があったり、画面表示が本書と違ったりする場合は、コンピューターの管理者の権限でログオンして、操作してください。
- 別売りの商品について
  本書で使用している商品品番は変更になることがあります。最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。
- 本書で説明しているタスクトレイ（A）内のアイコンが隠れて表示されていない場合は、 を選んですべてのアイコンを表示させてください。

状態表示ランプ

	ハードディスク状態表示	ハードディスクへのアクセス中に緑色に点灯します。
	電源状態表示	無点灯　：電源オフまたは休止状態です。 緑色点灯 ：電源オンまたは省電力のため画面が消えた状態です。 緑色点滅 ：スタンバイ状態です。

スタンバイ・休止状態機能

次回、すぐに操作をはじめるために

「スタンバイ」や「休止状態」機能を使って終了すると、アプリケーションを終了することなく、電源を切ることができます。電源を入れると、電源を切る前に使用していた状態（アプリケーションソフトやファイル）が画面に表示される（これを「リジューム」という）ので、すぐに操作を始めることができます。

●スタンバイ機能と休止状態機能の違い

機能	状態の保存先	立ち上がり速度	電源コードの接続
スタンバイ機能	メモリー	速い	必要（スタンバイ中に電力の供給がなくなると、保存していないデータは失われます。）
休止状態機能	ハードディスク	やや遅い	不要

お知らせ

コンピューターの動作を安定させるため、定期的に（1週間に1回程度）、スタンバイ・休止状態機能を使わないで Windows を終了してください。

スタンバイ・休止状態機能を使って操作を終わる

スタンバイ・休止状態機能を使って操作を終わるには、以下の方法があります。休止状態機能を使用するには、[電源オプション]で設定しておく必要があります。工場出荷時は、休止状態が使用できる設定になっています。

●電源スイッチを使う
●終了画面を使う
　＜スタンバイ機能＞
　　[スタート]-[終了オプション]を選び、[スタンバイ]を選ぶ。
　＜休止状態機能＞
　　[スタート]-[終了オプション]を選び、Shift を押しながら[休止状態]を選ぶ。

休止状態を使用するための設定

1. [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]を選ぶ
2. [休止状態]で、「休止状態を有効にする」にチェックマークを付けて[OK]を選ぶ

スタンバイ・休止状態機能

使用上のお願い

●スタンバイ・休止状態に入る前に

- ●操作を終わる前に、 データを保存してください。
- ●CD ドライブや外付けのハードディスク、ATA カードなどの外部装置からファイルを開いているときは、 ファイルを閉じた後、スタンバイ・休止状態機能を使ってください。
- ●リジューム時には、 セットアップユーティリティで設定したパスワードの入力は要求されません。
  セットアップユーティリティのパスワード入力の代わりに、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定することができます。
  1. [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント]で変更するアカウントを選ぶ。
  2. [パスワードを作成する]でユーザーのパスワードを設定する。
  3. [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]を選び、「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付ける。
- ●以下のとき、 スタンバイ・休止状態機能を使ってコンピューターの電源を切らないでください。実行中のファイルやデータが壊れたり、 機能や周辺機器が正常に動作しない場合があります。
  - ・起動直後しばらくの間（初期化などが行われています。）
  - ・フロッピーディスクドライブ、 CD ドライブ、 ハードディスクドライブ( )のランプ点灯中（ドライブアクセス中）
  - ・オーディオの録音・再生中や MPEG ファイルの再生中
  - ・通信ソフト、 LAN 動作中
  - ・SCSI カード、 LAN カード、 モデムカードなどを使っている場合（スタンバイ・休止状態機能を使ってこれらのカードが正常に動かなくなったときは、 コンピューターを再起動してください。）

- ●Alt 、Ctrl または Shift を押したままスタンバイ・休止状態に入ると、 リジューム後、 これらのキーが押された状態になります。これらのキーを1回押すと元の状態に戻ります。
- ●何らかの問題が発生してコンピューターが操作不能状態(ロック)になった場合のみ、電源スイッチを4秒以上押し続け、 電源を切ってください。この場合、 保存されていないデータは失われます。
- ●休止状態に入るには、ハードディスク上にメモリーの内容を保持するための空き領域を確保しておく必要があります。 [スタート] - [コントロールパネル] - [電源オプション] - [休止状態]の「休止状態を有効にする」にチェックマークを付けていると、空き領域は確保されています。
  （チェックマークが付けられない場合： 『困ったときの Q&A』）

スタンバイ・休止状態機能

●スタンバイ・休止状態処理中

●キーボードやマウス、 電源スイッチに触れないでください。

●スタンバイ・休止状態のとき

●機器の取り付け・取り外しを行わないでください。機器が破損したり、 正常に動作しないことがあります。

●Windowsのタスクスケジューラーのような一部のアプリケーションソフトには、 指定した時刻にコンピューターをスタンバイ･休止状態から自動的にリジュームさせる機能を持ったものがありますが、指定した時刻にスタンバイ・休止状態からリジュームしない場合があります。

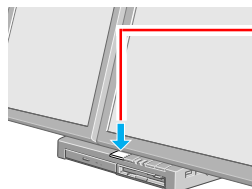
電源スイッチを使う

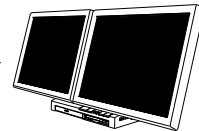
●設定する

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]を選ぶ

([休止状態]タブの「休止状態を有効にする」にチェックマークが付いていることを確認してください。チェックマークを外していると、休止状態機能を使うことはできません。)

2 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を「スタンバイ」または「休止状態」に設定し、[OK]を選ぶ

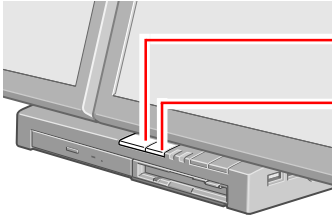
●設定を終わる

電源スイッチを押し､｢ピッ｣*と音がしたら指を離す。

(スイッチから指を離した後、電源状態表示ランプが消えるまで、または点滅に変わるまではスイッチに触れないでください。)

設定に従ってスタンバイ状態または休止状態に入る

お願い

｢ピッ｣*と音がしたら､すぐに電源スイッチから指を離してください。押し続けるとビープ音*が鳴り、さらに押し続けると(｢ピッ」と音がしてから約4秒間)、スタンバイ・休止状態機能が働かずに電源が切れます(強制終了)。この場合、保存していないデータは失われます。
｢コンピュータの電源ボタンを押したとき｣を[シャットダウン]に設定していても、電源スイッチを押し続けると、強制的に電源が切れる場合があります(強制終了)。この場合、保存していないデータは失われます。

*スピーカー機能を無効にしていると､｢ピッ｣という音およびビープ音は鳴りません。

リジュームする

電源スイッチを押す。

または

USER ボタンを押す。
(リジューム後、USER ボタンに登録されているアプリケーションソフトが起動します。)

お願い

- リジューム後、画面が復帰してもしばらくは初期化などが行われていますので、キーボードやマウス、電源スイッチに触れないでください。約15秒間待ってから操作を始めてください(LANが使用可能に設定されていてLAN ケーブルが接続されていない場合、さらに数10秒間初期化にかかることがあります)。この間に Windows の終了や再起動、およびスタンバイ・休止状態機能を使うと正常に動作しなくなります。
- リジューム後、マウス、モデム、PC カード、その他のシリアルデバイスが認識されないことがあります。この場合、本体を再起動するか、必要なデバイスを初期化してください。

お知らせ

USB 機器を接続していると、スタンバイ・休止状態機能が正常に動作しない場合があります。この場合は、Windowsの動作が正常であればUSB機器を取り外してください。指定された時間が経過した後、スタンバイ・休止状態に入ります。
それでもスタンバイ・休止状態機能が正常に動作しない場合は、コンピューターを再起動してください。

セキュリティ機能

データや機器の盗難、機密保護を目的としたいくつかのセキュリティ機能を使うことができます。
不測の事態に備えて、このセキュリティ機能を活用することをおすすめします。

こんなときは	この機能を使う	記載ページ
コンピューターを無断で使用されたくないとき	スーパーバイザーパスワード ユーザーパスワード	☞ 下記
ハードディスクを盗難された場合などでも、ハードディスクに保存されているデータを読み書きされたくないとき	ハードディスク保護	☞『ハードディスクに保存されているデータを読み書きされたくないとき』
フロッピーディスクによるデータの盗難や破壊を防ぎたいとき *1	フロッピーの操作禁止	☞『フロッピーディスクによるデータの盗難や破壊を防ぎたいとき』
CD からのアプリケーションソフトのインストールや自動実行を防ぎたいとき *2	CD の操作禁止	☞『CD からのアプリケーションソフトのインストールや自動実行を防ぎたいとき』
PC カードによるデータの盗難や破壊を防ぎたいとき	PC カードの操作禁止	☞『PC カードによるデータの盗難や破壊を防ぎたいとき』

*1 フロッピーディスクドライブ内蔵モデルのみ。
*2 CD ドライブ内蔵モデルのみ。

お願い

セキュリティ機能が絶対に安全と考えるのではなく、機密保護の一つとして活用してください。重要なデータについては、お客様ご自身が十分注意して管理してください。

お知らせ

セットアップユーティリティのセキュリティ機能とは別に Windows のセキュリティ機能があります。Windows のセキュリティ機能を使うには、NTFSファイルシステムを使用することをおすすめします。詳細については、Windows ヘルプを参照してください。

コンピューターを無断で使用されたくないとき

スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定します。(ユーザーパスワードはスーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。)パスワードを知らないとコンピューターを起動することができないので、重要なデータの機密保護に有効です。

●パスワードを設定していると

(「セキュリティ」メニューで「起動時のパスワード」を「有効」に設定している場合)

お知らせ

セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「起動時のパスワード」を「無効」に設定している場合でも、セットアップユーティリティ起動時にはパスワードの入力が必要になります。

スーパーバイザーパスワードを設定（有効・変更・無効）する

1 セットアップユーティリティを起動する

2 [→] [←] で「セキュリティ」を選ぶ

3 [↑] [↓] で「スーパーバイザーパスワード設定」を選び、Enter を押す

4 <スーパーバイザーパスワードがすでに設定されているときのみ>
「現在のパスワードを入力してください」の[　　]にパスワードを入力し、Enter を押す

5 「新しいパスワードを入力してください」の[　　]に新しいパスワードを入力し、Enter を押す
● スーパーバイザーパスワードを無効にするとき
何も入力しないで Enter を押す

6 「新しいパスワードを確認してください」の[　　]にパスワードを再度入力し、Enter を押す
● スーパーバイザーパスワードを無効にするとき
何も入力しないで Enter を押す

7 確認の画面で Enter を押す

8 F10 を押し、「はい」を選ぶ

お知らせ

- 入力したパスワードは画面には表示されません。
- 入力可能な文字は、半角の英数字で、最大７文字です。大文字、小文字の区別はありません。
- Shift や Ctrl などの特殊キーと組み合わせて入力することはできません。
- テンキーによる入力はできません。数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。

お願い

- パスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
- パスワードを無断で設定（変更・無効）されないよう、セットアップユーティリティを起動しているときは、コンピューターから離れないでください。

ユーザーパスワードを設定（有効・変更・無効）する

1 セットアップユーティリティを起動する

お知らせ
- ●スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は設定してください。
  （☞『スーパーバイザーパスワードを設定する』）
- ●ユーザーパスワードを設定した後にスーパーバイザーパスワードを無効にすると、ユーザーパスワードも無効になります。

2 [→] [←] で「セキュリティ」を選ぶ

3 [↑] [↓] で「ユーザーパスワード設定」を選び、[Enter]を押す

4 <ユーザーパスワードがすでに設定されているときのみ>
「現在のパスワードを入力してください」の[　　]にパスワードを入力し、[Enter]を押す

5 「新しいパスワードを入力してください」の[　　]に新しいパスワードを入力し、[Enter]を押す
<スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合のみ>
● ユーザーパスワードを無効にするとき
何も入力しないで [Enter]を押す

6 「新しいパスワードを確認してください」の[　　]にパスワードを再度入力し、[Enter]を押す
● ユーザーパスワードを無効にするとき
何も入力しないで [Enter] を押す

7 確認の画面で [Enter]を押す

8 [F10] を押し、「はい」を選ぶ

お知らせ
- ●入力したパスワードは画面には表示されません。
- ●入力可能な文字は、半角の英数字で、最大７文字です。大文字、小文字の区別はありません。
- ● [Shift] や [Ctrl] などの特殊キーと組み合わせて入力することはできません。
- ●テンキーによる入力はできません。数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。
- ●セットアップユーティリティの起動時にユーザーパスワードを入力した場合、ユーザーパスワードを無効にすることはできません。

ユーザーパスワードを無断で設定または変更されたくないとき
以下の手順で、ユーザーパスワード保護を設定してください。

1 [↑] [↓] で「ユーザーパスワード保護」を選び、[Enter]を押す。

2 [↑] [↓] で「保護する」を選び、[Enter]を押す。

お願い
- ●パスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
- ●パスワードを無断で設定（変更・無効）されないよう、セットアップユーティリティを起動しているときは、コンピューターから離れないでください。

ハードディスクに保存されているデータを読み書きされたくないとき

ハードディスク保護を有効にすると、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けて読み書きしようとしてもできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前とまったく同じ設定にしておいてください。

起動時のパスワードを設定しなくてもハードディスク保護を設定することはできますが､セキュリティのためには､起動時のパスワードも設定しておくことをおすすめします｡(ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません｡)

工場出荷時の設定では､「ハードディスク保護」は「無効」に設定されています｡

お知らせ

スーパーバイザーパスワードが設定されていない場合､「ハードディスク保護」は設定できません｡

（☞『スーパーバイザーパスワードを設定する』）

スーパーバイザーパスワードは忘れないようにしてください｡「ハードディスク保護」を「有効」に設定した後､スーパーバイザーパスワードを忘れてしまうとハードディスクへのアクセスができなくなります｡

ハードディスク保護を設定する（有効または無効にする）

1 セットアップユーティリティを起動する

2 [→] [←] で「セキュリティ」を選ぶ

3 [↑] [↓] で「ハードディスク保護」を選び、[Enter] を押す

お知らせ

「ハードディスク保護」が表示されない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

4 ●有効にするとき

「有効」を選んで [Enter] を押す

「[重要]お知らせ」の画面が表示されたら [Enter] を押してください。

●無効にするとき

「無効」を選んで [Enter] を押す

5 [F10] を押し、「はい」を選ぶ

お願い

ハードディスクの交換を依頼する場合、交換前に「ハードディスク保護」が「無効」になっていることを必ず確認してください。

＜フロッピーディスクドライブ内蔵モデルのみ＞

フロッピーディスクによるデータの盗難や破壊を防ぎたいとき

フロッピーディスクの操作を禁止します。フロッピーディスクの操作を禁止すると、フロッピーディスクにアクセスしようとしても、読み書きが一切できません。
フロッピーディスクを使って、無断で重要なデータを持ち出されたり、無用なデータが書き込まれたりするのを防ぎたいときに有効です。

フロッピーディスクの操作を設定（禁止・禁止を解除）する

1 セットアップユーティリティを起動する

2 → ← で「セキュリティ」を選ぶ

3 ↑ ↓ で「フロッピー操作」を選び、Enter を押す

4 ↑ ↓ で「無効」を選び、Enter を押す

● 禁止を解除するとき

↑ ↓ で「有効」を選び、Enter を押す

5 F10 を押し、「はい」を選ぶ

＜ CD ドライブ内蔵モデルのみ＞

CD からのアプリケーションソフトのインストールや自動実行を防ぎたいとき

CD ドライブの操作を禁止します。CD ドライブの操作を禁止すると、CD ドライブにアクセスしようとしても、アクセスが一切できません。
CDから不要なアプリケーションソフトをインストールされたり、自動実行されたりするのを防ぎたいときに有効です。

CD ドライブの操作を設定（禁止・禁止を解除）する

1 セットアップユーティリティを起動する

2 → ← で「セキュリティ」を選ぶ

3 ↑ ↓ で「CD 操作」を選び、Enter を押す

4 ↑ ↓ で「無効」を選び、Enter を押す

● 禁止を解除するとき

↑ ↓ で「有効」を選び、Enter を押す

5 F10 を押し、「はい」を選ぶ

PC カードによるデータの盗難や破壊を防ぎたいとき

PCカードの操作を禁止します。PCカードの操作を禁止すると、PCカードにアクセスしようとしても、アクセスができません。

PCカードを使って、無断で重要なデータを持ち出されたり、無用なデータが書き込まれたりするのを防ぎたいときに有効です。

PC カードの操作を設定（禁止・禁止を解除）する

1. セットアップユーティリティを起動する
2. →←で「詳細」を選ぶ
3. ↑↓で「カードバスコントローラー」を選び、Enterを押す
4. ↑↓で「無効」を選び、Enterを押す
   - 禁止を解除するとき
     ↑↓で「有効」を選び、Enterを押す
5. F10 を押し、「はい」を選ぶ

省電力機能

省電力の方法

省電力のコツ！

●使わないときは電源を切る

●[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]で設定を行う

タイムアウトなどを詳細に設定し、電力の消費を抑えることができます。

お知らせ

- ●「システムスタンバイ」の時間よりも「システム休止状態」の時間を短く設定することはできません。
- ●ユーザーの簡易切り替えを行うと、省電力機能が正常に動作しなくなる場合があります。省電力機能が正常に動作しなくなった場合は、再起動してください。

お願い

ネットワーク環境をお使いの場合

スタンバイ・休止状態機能は使用しないでください。リジューム後、ネットワーク接続ができないなど、コンピューターが正常に動作しない場合があります。

シリアルポートなどに高速モデムやISDNのターミナルアダプターなどを接続して通信を行う場合

省電力の設定を有効にして高速通信を行うと通信が正常に行われない場合があります。

各タイムアウトの時間誤差

設定したタイムアウトの時間は、1分程度の誤差を生じることがあります。

ダブルディスプレイ

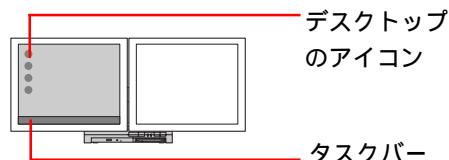
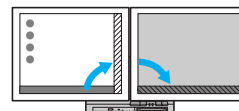
ダブルディスプレイを使う

ダブルディスプレイモデルでは、左右どちらかのディスプレイをプライマリ（主画面）として扱います。
以降、本書ではプライマリに設定しているディスプレイを“プライマリディスプレイ”と呼び、もう一方を“セカンダリディスプレイ”と呼びます。

お願い

- ダブルディスプレイに対応していないアプリケーションソフトの場合、セカンダリディスプレイに表示したり、2画面にわたって表示したりすると、ウィンドウの大きさを自由に変更できない、エラーが発生する、表示が乱れるなどの現象が起こることがあります。
  特に動画再生の場合は、動画がなめらかに再生されなかったり、画面が正しく表示されないことがあります。このようなアプリケーションソフトはプライマリディスプレイ上でお使いください。
- セカンダリディスプレイにWindows画面が表示されない場合は、下記の操作を行ってください。
  [スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップの表示とテーマ]-[画面]-[設定]で、[2]を右ボタンでクリックして「接続」にチェックマークを付け、[OK]を選ぶ。
- プライマリとセカンダリを入れ換えたり、接続の有効／無効を切り替えたりした場合は、必ずWindowsを再起動してください。
- 動画はプライマリディスプレイで表示してください。また、ユーザーの簡易切り替えを行う前に動画の再生用アプリケーションソフトを終了してください。
- ユーザーの簡易切り替えを行うと、アイコンの再配置ができなくなるなど、画面が正しく表示されなくなる場合があります。画面が正しく表示されない場合は、再起動してください。

お知らせ

- シングルディスプレイモデルに比べて、Windowsが起動するまでの時間が長くなるなど、動作が遅くなることがあります。
- 工場出荷時の状態では、アイコンおよびタスクバーはプライマリディスプレイ（左側のディスプレイ）に表示されます。ドラッグ＆ドロップでどちらのディスプレイにも移動できます。

  タスクバーの移動方法：
  タスクバー上で右クリックをして[タスクバーを固定する]のチェックマークを外してから、ドラッグ＆ドロップでいったんディスプレイの端に縦に配置し、そのままもう一方のディスプレイに移動する。

- ダブルディスプレイで使用する場合、下記の設定で使用することをおすすめします。下記以外の設定で使用すると、アイコンが2画面にわたって表示されるなど、正しく表示されなくなる場合があります。
  - デスクトップ上で右クリックして［アイコンの整列］を選び、［アイコンの自動整列］にチェックマークを付ける。
  - 「画面のプロパティ」で、左右のディスプレイの表示色を同じに設定する。
  - 「画面のプロパティ」で、左右のディスプレイの解像度をLCDの解像度にあわせる。
- 電源を入れてからWindowsが起動するまでの画面(パスワード入力やセットアップユーティリティなど)は、左側のディスプレイに表示されます。右側に表示することはできません。

ダブルディスプレイ

プライマリディスプレイの設定

工場出荷時の設定では、左側がプライマリ（主画面）に設定されています。
プライマリの設定は、以下の手順で変更することができます。

1 [スタート]-[コントロールパネル]を選び、左側の[関連項目］の［コントロールパネルのその他のオプション］-［Intel(R) Extreme Graphics］-［デバイス]を選ぶ。

2 [拡張デスクトップ]を選び、「プライマリデバイス」と「セカンダリデバイス」を設定する。
色数や画面領域（解像度）を設定する場合は、[画面のプロパティ]の[設定]で行ってください。
ノートブック：　左側のディスプレイのことです。
PC モニタ：　右側のディスプレイのことです。

3 [OK]を選ぶ。
確認のメッセージが表示されたら、[OK]を選んでください。

お知らせ

●初めて起動したアプリケーションソフトのウィンドウは、プライマリディスプレイに表示されます。
次回起動時からは、閉じたときに表示していたディスプレイに表示されます。アプリケーションソフトによっては、常にプライマリディスプレイに表示される場合があります。

●スクリーンセーバーの種類によってはプライマリディスプレイにスクリーンセーバーが表示されても、もう一方のディスプレイには表示されない場合があります。この場合、スクリーンセーバーのパスワードを設定していても、スクリーンセーバーが表示されていないディスプレイを使ってコンピューターを操作することができます。パスワードを設定する場合は、ダブルディスプレイに対応しているスクリーンセーバーを選んでください。

●「画面のプロパティ」でセカンダリディスプレイを無効にする場合、セカンダリディスプレイにウィンドウが表示されていないことを確認してください。ウィンドウが表示されている場合は、プライマリディスプレイに移動した後、無効にしてください。ウィンドウをプライマリディスプレイに移動しないでセカンダリディスプレイを無効にすると、セカンダリディスプレイに表示されたウインドウが画面に表示されなくなります。

●コマンドプロンプトを最大化表示した場合、プライマリディスプレイが右側に設定されている場合でも、左側のディスプレイに表示されます。

ディスプレイの配置をあわせる

[スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップの表示とテーマ]-[画面]-[設定]でモニター番号の配置をあわせる

ディスプレイにはそれぞれモニター番号が付けられています。モニター番号をドラッグ&ドロップして、モニター番号の配置を実際のディスプレイの配置とあわせてください。カーソル操作がしやすくなります。

左側のディスプレイ

右側のディスプレイ

お願い

- モニター番号 1 および 2 のディスプレイは、上記の画面のように左右に並べて配置してください。
- ディスプレイアシストの各機能は、上記で設定したディスプレイの配置に従って働きます。ディスプレイアシストの機能が意図したように働かない場合は、ディスプレイの配置を確認してください。

●モニター番号を確認するには
「画面のプロパティ」のモニター番号の上で右クリックし、[識別] を選ぶと、その番号に対応したディスプレイにモニター番号が表示されます。

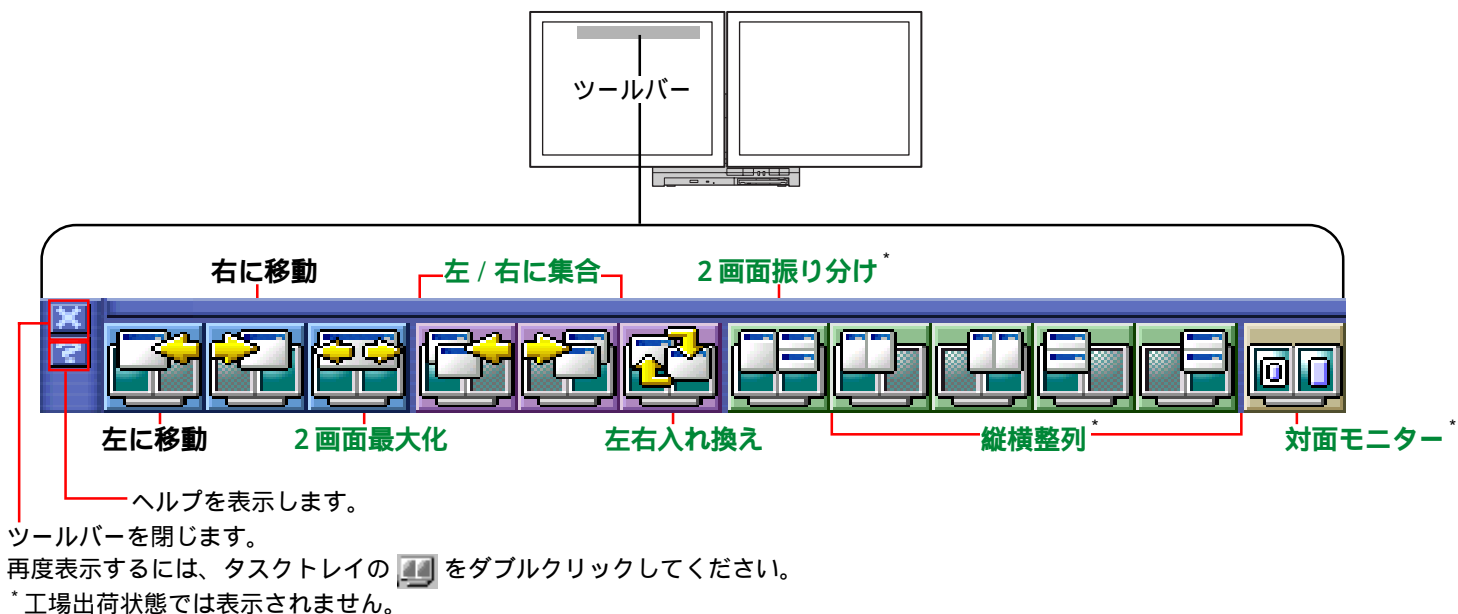
ダブルディスプレイのウィンドウを操作する（ディスプレイアシスト機能）

ツールバーを使うと、2画面に表示しているウィンドウをすばやく移動させたり、表示状態を変えたりすることができます。ツールバー以外にホットキーを使って操作することもできます。

（『ダブルディスプレイの動作環境を設定する』）

お知らせ

アプリケーションソフトによっては、ディスプレイアシストの一部の機能が働かない場合があります。
また、ディスプレイアシスト機能を使って対面モニターおよびディスプレイアシストの環境設定画面を移動させたりすることはできません。

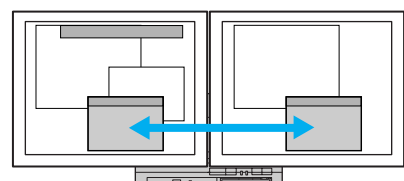
ヘルプを表示します。
ツールバーを閉じます。
再度表示するには、タスクトレイの をダブルクリックしてください。
* 工場出荷状態では表示されません。

お知らせ

- ウィンドウの最大化などにより、ツールバーが前面に表示されていないときはホットキーで手前に表示することができます（工場出荷時のキーの割り当て：Ctrl + ⊞ + Enter ）。また、常に手前に表示するよう設定することもできます。（『ダブルディスプレイの動作環境を設定する』）
- ツールバーにどのボタンを表示するか選択できます。工場出荷時は、並列セッティング用のボタンが表示されています。（『ダブルディスプレイの動作環境を設定する』）
- 左に移動、右に移動、2 画面最大化は、常に手前に表示するように設定されているウィンドウがある場合、そのウィンドウが優先されます。

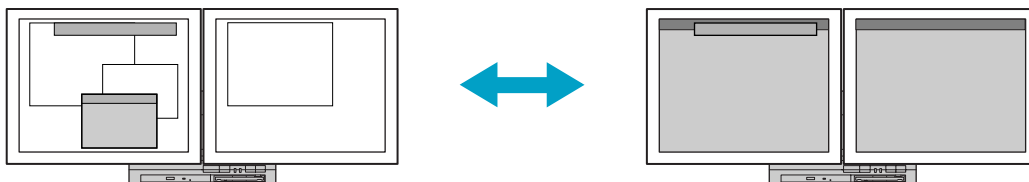
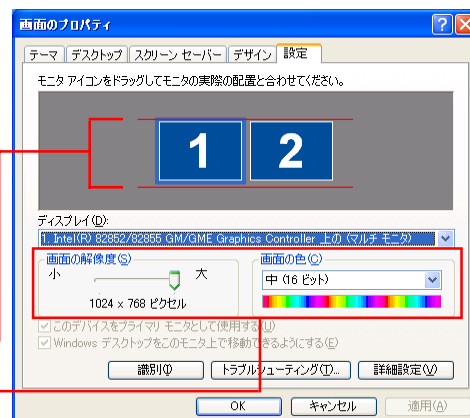
左に移動

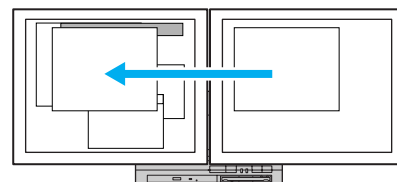
一番手前のウィンドウを左に移動する

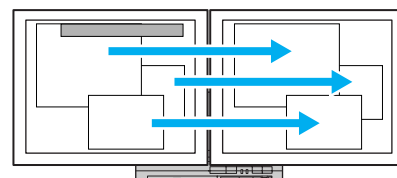
右に移動

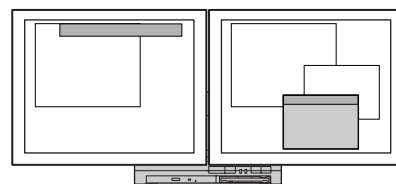
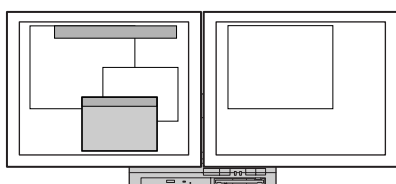
一番手前のウィンドウを右に移動する

2画面最大化

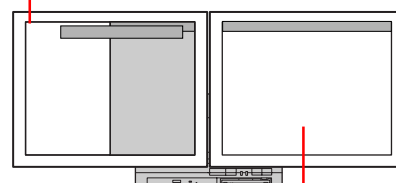
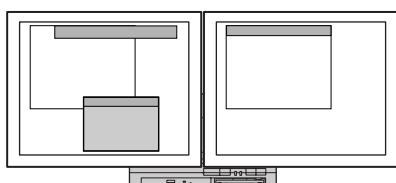
2画面にわたって最大化する・最大化をやめる

(並列セッティングを選択時のみ**『ダブルディスプレイの動作環境を設定する』****)**

- **一番手前のウィンドウを2画面にわたって最大化します。一番手前のウィンドウを最大化できない場合は、次のウィンドウを最大化します。**
- **[スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップの表示とテーマ]-[画面]-[設定]で、両方のディスプレイの水平位置を同じに設定し、色と画面の領域も同じに設定してください。ディスプレイの位置がずれていると動作しません。(工場出荷時は、ディスプレイの色、領域、水平位置は同じに設定されています。)**
- **2画面最大化をやめる場合、再度 を選んでください。(ウィンドウのサイズは、最大化する前のサイズとは異なります。)**
- **2画面にわたって最大化しているウィンドウの (最大化ボタン) を選んだ場合：**
  プライマリディスプレイで最大化表示されます。この場合、ウィンドウの (元のサイズに戻すボタン)を選ぶと、2画面最大化の大きさに戻ります。2画面最大化をやめる場合は、 を選んでください。
  最大化表示したことにより、ツールバーが手前に表示されていない場合は、キーボードで手前に表示できます。(工場出荷時の割り当て：Ctrl + (Windowsキー) + Enter)
- **ウィンドウサイズが固定の場合 (プロパティなど) や (最大化ボタン) を選んでも画面いっぱいに最大化されないウィンドウの場合は、 を選んでも2画面最大化になりません。**

左に集合

開いているすべてのウィンドウを左に集める

右に集合

開いているすべてのウィンドウを右に集める

左右入れ換え

左右のウィンドウを入れ換える

2 画面振り分け

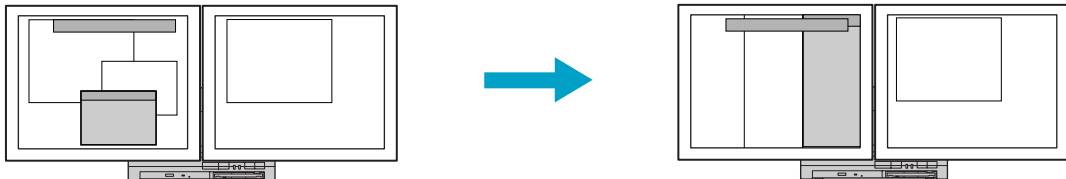
サイズ変更可能なウィンドウを 2 画面に振り分ける

●振り分けたウィンドウを元の状態に戻すには、各ウィンドウをドラッグ＆ドロップして、サイズを変更したり、移動させたりする必要があります。

＊ 縦に並べることができるウィンドウは、1画面に対して8個までです。振り分けた結果、ウィンドウが9個以上になる場合は、9個目以降のウィンドウを並べて表示することはできません。

左縦整列

左のディスプレイに表示されているウィンドウを縦に並べて表示

右縦整列

右のディスプレイに表示されているウィンドウを縦に並べて表示

●ウィンドウが1つの場合は最大化されます。
整列したウィンドウを元の状態に戻すには、各ウィンドウの枠をドラッグ&ドロップしてサイズを変更してください。

●整列できるウィンドウは、1画面に対して8個までです。ウィンドウを9個以上開いている場合、整列されません。

左横整列

左のディスプレイに表示されているウィンドウを横に並べて表示

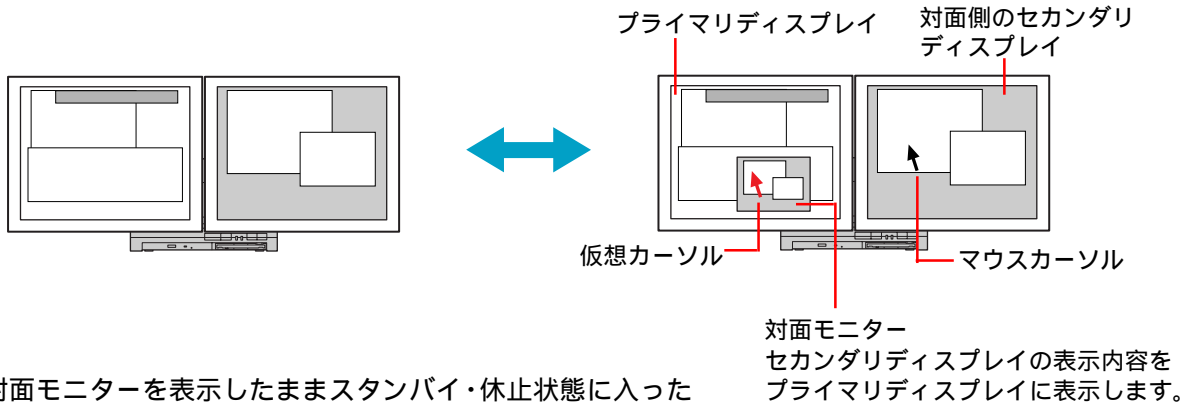
右横整列

右のディスプレイに表示されているウィンドウを横に並べて表示

●ウィンドウが1つの場合は最大化されます。
整列したウィンドウを元の状態に戻すには、各ウィンドウの枠をドラッグ&ドロップしてサイズを変更してください。

●整列できるウィンドウは、1画面に対して8個までです。ウィンドウを9個以上開いている場合、整列されません。

対面モニター

対面側のセカンダリディスプレイの表示内容をプライマリディスプレイに表示する・解除する（対面セッティングに設定時のみ 『ダブルディスプレイの動作環境を設定する』）

●対面モニターを表示したままスタンバイ・休止状態に入った場合、リジューム後は対面モニターが表示されません。

お知らせ

●対面側のセカンダリディスプレイにマウスカーソルが移動すると、対面モニター内に仮想カーソルが表示されます。仮想カーソルを見ながら対面側のウィンドウを操作することができます。
仮想カーソルを使って対面側のウィンドウを操作する場合は、「画面のプロパティ」の[効果]で「ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する」にチェックマークを付けてください。

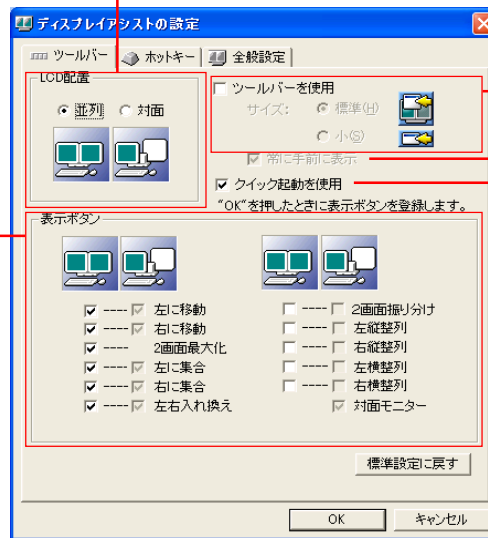
●アプリケーションソフトによっては、対面モニターに表示されない場合があります。

ダブルディスプレイの動作環境を設定する

1 タスクトレイのアイコンを右ボタンで選び、「環境設定」を選ぶ

●ツールバーの設定

並列と対面それぞれのLCD配置で、ツールバーに表示するボタンをそれぞれ選択します。
「LCD配置」の「並列」または「対面」を選んでから、必要な項目にチェックマークを付けてください。
ツールバーを表示した状態でボタンの選択を変更すると、変更と同時にツールバーに変更内容が反映されます。元の状態に戻すには、[キャンセル]を選んでください。

ダブルディスプレイをどのようなセッティングで使うかを設定します。
セッティングごとに、ツールバーに表示するボタンを選択することができます。このため、「並列セッティング」と「対面セッティング」を切り替えるだけでツールバーのボタンも切り替えられます。

次回起動した時にツールバーを表示するかどうかを設定します。
表示する場合は、ツールバーのサイズを選びます。

「ツールバーを使用」を選択時にチェックマークを付けていると、ツールバーが常に手前に表示されます。

タスクバーにディスプレイアシストのボタンを表示するかどうかを設定します。
「ツールバーを使用」にチェックマークが付いている時は、選べません。

お知らせ

- 「ツールバーを使用」にも「クイック起動を使用」にもチェックマークを付けていないと、次回起動した時にツールバーが表示されません。ホットキーでウィンドウを操作することはできます。
  ツールバーを表示するには、タスクトレイのアイコンをダブルクリックしてください。
- 「クイック起動を使用」にチェックマークを付けた場合、タスクバーに十分なスペースがないと登録したボタンが表示されません。下記の操作を行ってください。
  » を選択すると表示されるメニューから、ボタンを選ぶ。
- 「クイック起動を使用」にチェックマークを付けてタスクバーにディスプレイアシストのボタンを表示していても、ディスプレイアシストを終了すると、タスクバーにあるディスプレイアシストのボタンをクリックしても機能しません。
- 工場出荷時の設定では、クイック起動は表示されません。クイック起動を表示させるためには、[スタート] - [コントロールパネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [タスクバーと［スタート］メニュー] を選び、「クイック起動を表示する」にチェックマークを付けて［OK］を選んでください。

ダブルディスプレイ

●ホットキーの設定

ホットキーに使用できるキー

補助キー（いずれか１つ）

- Alt
- Alt + Ctrl
- Alt + ⊞ (Windows)
- Ctrl + ⊞ (Windows)

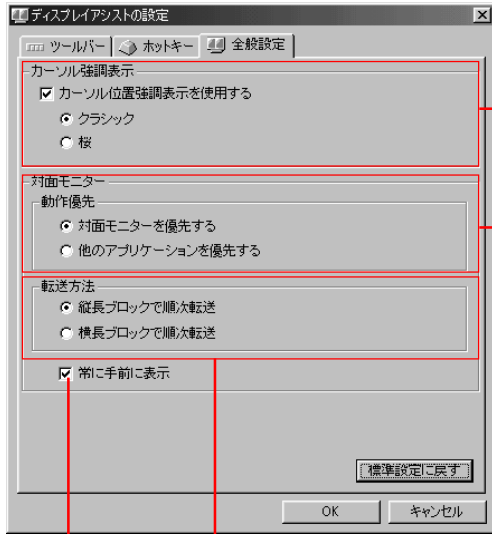
キー（いずれか１つ）

- F1 から F12
- 英数
- アルファベット
- 方向キー
- Enter
- Space

お知らせ

- ホットキーは､他のアプリケーションソフトのショートカットキーおよびホットキーと競合しないように設定してください｡競合していると､ディスプレイアシスト側のホットキーが優先されることがあります｡
- テンキーは、ホットキーとして使えません｡

項目	操作内容	工場出荷時のキー設定
左に移動	一番手前のウィンドウを左に移動	Ctrl + ⊞ + ←
右に移動	一番手前のウィンドウを右に移動	Ctrl + ⊞ + →
2画面最大化	2画面にわたって最大化	Ctrl + ⊞ + D
左に集合	ウィンドウを左に集める	Ctrl + ⊞ + 1
右に集合	ウィンドウを右に集める	Ctrl + ⊞ + 2
左右入れ換え	左右のウィンドウを入れ換える	Ctrl + ⊞ + C
2画面振り分け	2画面にウィンドウを振り分ける	Ctrl + ⊞ + E
左縦整列	左のディスプレイのウィンドウを縦に並べて表示	Ctrl + ⊞ + V
右縦整列	右のディスプレイのウィンドウを縦に並べて表示	Ctrl + ⊞ + W
左横整列	左のディスプレイのウィンドウを横に並べて表示	Ctrl + ⊞ + H
右横整列	右のディスプレイのウィンドウを横に並べて表示	Ctrl + ⊞ + I
対面モニター	対面側ディスプレイの表示内容をプライマリディスプレイに表示	Ctrl + ⊞ + S
ツールバーを手前に出す	ツールバーを手前に出す	Ctrl + ⊞ + Enter
マウスカーソルジャンプ	カーソルをもう一方のディスプレイにジャンプ	Ctrl + ⊞ + Space

●カーソル位置強調と対面モニターの動作を設定

チェックマークを付けていると、スクリーンセーバーからの復帰時やカーソルジャンプ時に、カーソルのまわりに強調表示を出します。また、強調表示の色合いを「クラシック」と「桜」から選ぶことができます。

対面モニターを使うとき､対面モニターと他のアプリケーションソフトのどちらをスムーズに表示して操作するかを選ぶことができます。

・「対面モニターを優先する」を選んだ場合
　　対面モニターの表示 ：通常よりもなめらかに表示
　　Windows の操作 ：遅くなる
　　（動画などはなめらかに再生されません。）

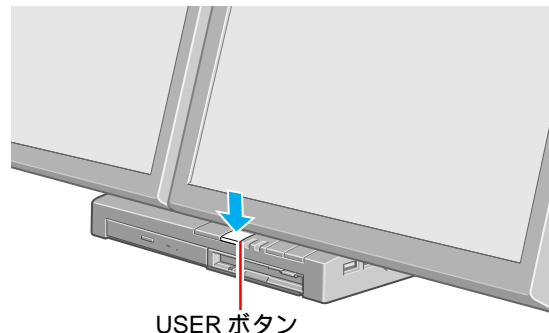
・「他のアプリケーションを優先する」を選んだ場合
　　対面モニターの表示 ：遅くなる
　　Windows の操作 ：通常のスピードで操作

対面側ディスプレイの表示内容を対面モニターに表示するとき､縦長ブロックで転送するか､横長ブロックで転送するかを選ぶことができます。

チェックマークを付けていると、対面モニターが常に手前に表示されます。

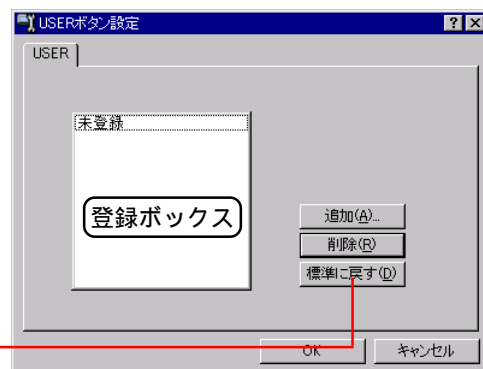
2 [OK]を選ぶ

USER ボタン

Windows が起動した状態で USER ボタンを押すと、登録されているアプリケーションソフトが起動します。
電源がオフのときやスタンバイ・休止状態でUSER ボタンを押すと、Windows 起動後またはリジューム後に、登録されているアプリケーションソフトが起動します。パスワードの入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。
USER ボタンには複数のアプリケーションソフトが登録できます。
(工場出荷時、USER ボタンにアプリケーションソフトは登録されていません)

アプリケーションソフトを登録する / 削除する

1 タスクトレイの を選び、[USERボタンの設定]を選ぶ

2 ●アプリケーションソフトを登録する

[追加]を選び、アプリケーションソフトを選ぶ。
または、エクスプローラなどから登録ボックスにファイルをドラッグ & ドロップする。

お知らせ

- 以下の拡張子が付いているファイルが登録できます。
  ただし、ファイルによっては登録できないものもあります。
  - EXE（実行ファイル）
  - LNK（各種ファイルへのショートカット）

●アプリケーションソフトを削除する

登録ボックス内のアプリケーションソフトを選び、[削除]を選ぶ。

3 [OK]を選ぶ

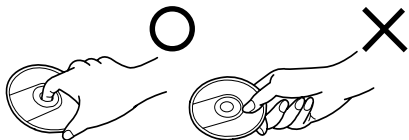
＜CDドライブ内蔵モデルのみ＞

CDドライブ

使用上のお願い

- トレイにCD以外のものを載せないでください。
- トレイを開けたままで放置したり、レンズの部分に手を触れたりしないでください。
- トレイが開いているときに、トレイに無理な力をかけないでください。故障の原因になります。
- トレイを閉じた後、CDドライブのアクセスランプが消えるまで、CDドライブにアクセスしないでください。
- CDドライブアクセス中は、CDドライブを開けたり、コンピューターを動かしたりしないでください。故障の原因になります。
  また、CDにアクセスするアプリケーションソフトを起動した後は、そのアプリケーションソフトを終了するまでCDドライブを開けたり、CDを取り出さないでください。
- CD（ビデオCDやMPEGデータが保存されたCDなど）から動画を再生したときに、なめらかに再生できないことがあります。あらかじめご了承ください。
- フォトCDを再生すると極まれに映像が乱れる場合があります。この場合、最初から再生すると正しく表示されるようになります。
- CDドライブのクリーニングにはカメラ用のレンズブロアーの使用をおすすめします。（スプレー式の強力なものは使わないでください。）
- 油煙やたばこの煙の多いところでは使用しないでください。レンズの寿命が短くなることがあります。
- CDドライブのすき間部分にゼムクリップなどの異物が入らないようにしてください。
- 変形したCD（曲がったり、円形でないもの）は使用しないでください。

CDの取り扱い

- 汚したり、傷つけたりしないでください。
- ゴミやほこりの多い場所、温度、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所に置かないでください。
- 表面に字を書いたり、紙を貼ったりしないでください。
- 落としたり、曲げたり、重い物をのせないでください。
- 温度差の激しい場所に置かないでください。結露が生じます。
  急に暖かい室内に持ち込んだときなどに露がついたら、乾いた柔らかい布でふいてください。
- CDの汚れや損傷の原因になりますので、再生面（タイトルのない面）に触れないでください。
- 2〜3か月に1回程度、CDのクリーニングをしてください。クリーニングには、CDディスククリーナーを使用してください。

汚れをとるには

柔らかい乾いた布で、中心から外の方向へ軽くふきます。

○ ×

＜CDドライブ内蔵モデルのみ＞

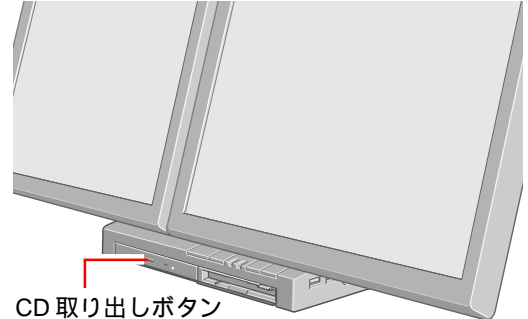
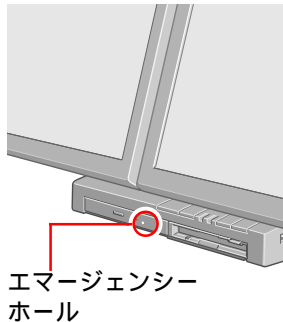
CDドライブ

セットのしかた

1 **電源が入っている状態でCD取り出しボタンを押し、トレイを引き出す**

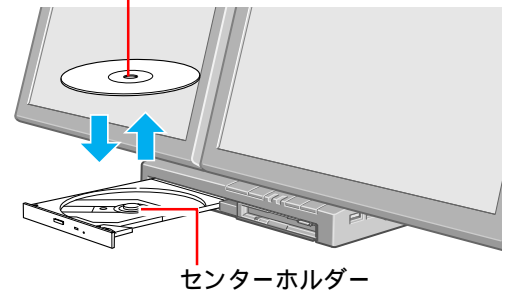
トレイが少し出ますので、手でゆっくり引き出してください。

お知らせ

CDが取り出せなくなったときや、電源を入れないでCDを取り出したいときは、ゼムクリップを引き伸ばしたものなどをエマージェンシーホールに挿し込んでトレイを引き出してください。

2 ● **CDをセットするとき**

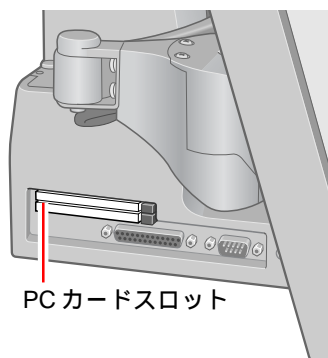
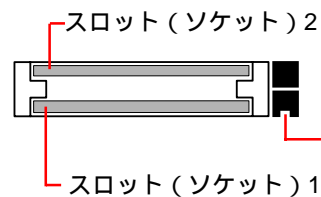
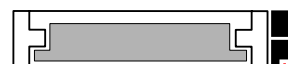
タイトル面を上にしてトレイにセットし、CDの中心部をカチッと音がするまで押してしっかりとセットしてください。

● **CDを取り出すとき**

センターホルダーに指を添え、CDの端を少し浮かせて取り出します。

3 **トレイを閉じる**

自動実行ディスクの場合

- スタンバイ・休止状態からのリジューム後、自動実行のディスクを挿入しても実行されない場合は、15秒以上時間をあけてディスクを入れ直してください。正しく実行されます。
- ディスクの状態によっては、ファイルへのアクセス中に自動実行が開始されることがあります。

本機にはPCカード用スロットが2つあります。
PC Card Standard**規格に準拠した**PC**カードを使うことにより通信機能を活用したり**SCSI**機器などの周辺機器を接続することができます。カードは厚みによってタイプ**I（3.3 mm）、**タイプ**II（5.0 mm）、**タイプ**III（10.5 mm）**の**3**つのタイプがあります。**

お願い

- PCカードの定格を確認して動作電流の合計がカードスロットの許容電流を超えないようにしてください。許容電流を超えると、故障の原因になります。
  （2スロット合計の許容電流→3.3 Vまたは5 V:400 mA, 12 V:120 mA）
- タイプIおよびタイプIIのPCカードでも種類によっては2枚同時に使えない場合があります。
- ZVカード、SRAMカードおよびFLASHカード（ATAインターフェースを除く）は使用できません。
- PCカードの抜き挿しを繰り返すと、カードによっては認識されなくなる場合があります。この場合は、再起動してください。
- PCカードによっては、2枚同時に使用できない場合があります。

PC カードを取り外す・取り付ける

●PCカード（またはダミーカード）を取り外すとき

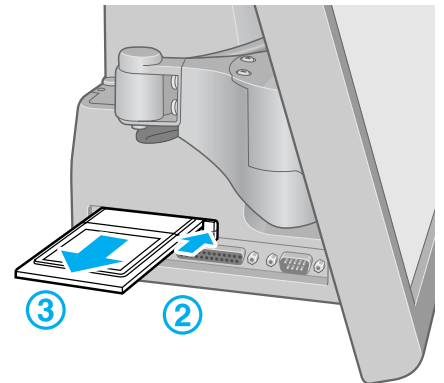
お願い

スタンバイ・休止状態のとき、機器の取り付け・取り外しを行わないでください。機器が破損したり、正常に動作しないことがあります。

① <ダミーカード以外の PC カードを取り外す場合のみ>

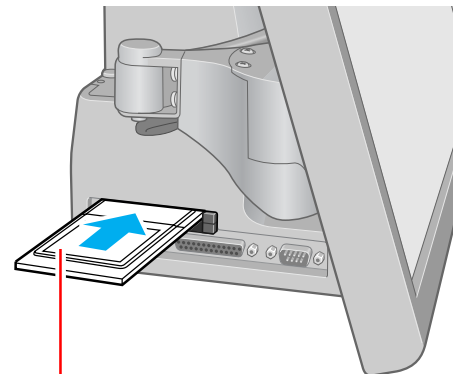
タスクバーの をダブルクリックして、取り外す機器を選んで[停止]を選びます。「ハードウェアデバイスの停止」画面で[OK]を選ぶ。確認画面で[OK]を選ぶ。
（電源を切った状態で取り外す場合または が表示されていない場合、この手順は不要です。）

② ボタンを押す。ボタンが少し出てきます。再度ボタンを押す。

③ PC カードを抜く。

● PC カードを取り付けるとき

カードのラベル面を上にして、ゆっくりと奥まで挿し込みます。

お願い

- PCカードを取り付けるときは、あらかじめPCカードやPC カードに接続する周辺機器に付属の取扱説明書をお読みください。
- 周辺機器を接続するタイプの PC カード（SCSI や IEEE 1394 など）の場合、まずカードに周辺機器を接続し、周辺機器の電源を入れてからカードをスロットに入れてください。
- カードを挿し込むときに重く感じた場合は、無理に挿し込まないでください。またカードの形状によっては、装着後、外に突き出たままになるものもあります。無理に押さないよう注意してください。PC カードスロットが破損したり、カードが取り出せなくなったりします。

RAM モジュール

RAM モジュールを増設し、メモリーを増やすことによってWindowsやアプリケーションソフトの操作がより快適になり、作業効率をアップすることができます。

推奨RAM モジュールの仕様にあったモジュールを使用してください。仕様にあっていないRAM モジュールでは、データが使えなくなったり、本機が正常に動作しなくなる場合があります。

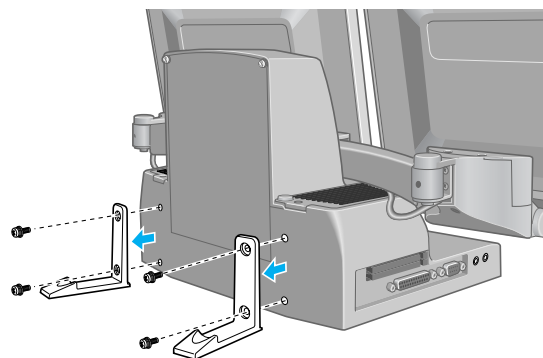
推奨 RAM モジュール		
品番	CF-BAR0256JS	256 M バイト
仕様	200 ピン、2.5 V、SO-DIMM、DDR-SDRAM、266 MHz	

お願い

RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。取り付けおよび取り外しのときは、端子などに触れないようにしてください。また、本体内部の部品や端子などに触ったり、ゼムクリップなどの異物を入れないでください。機器が破損したり、火災・感電の原因になります。

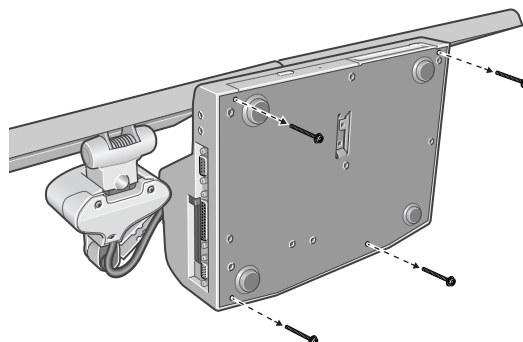
RAM モジュールを取り付ける・取り外す

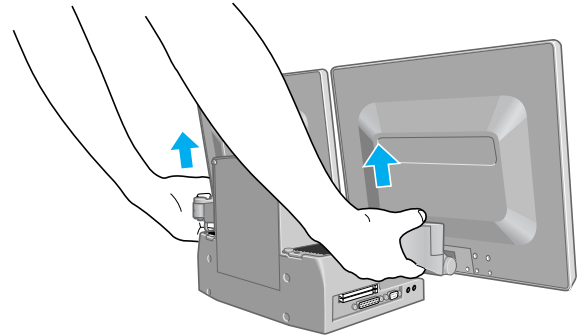
1 スタンバイ・休止状態機能を使わずに操作を終わり、電源コードを取り外す

2 <ダブルディスプレイモデルのみ>
転倒防止金具を取り外す

3 本体底面のネジを取り外す

柔らかい布などを敷いた上に、右図の向きに静かに置きます。底面のネジ（長いネジ4つ）を取り外します。

お願い

本体を倒すときに衝撃を与えないように注意してください。

4 台座部を取り外す

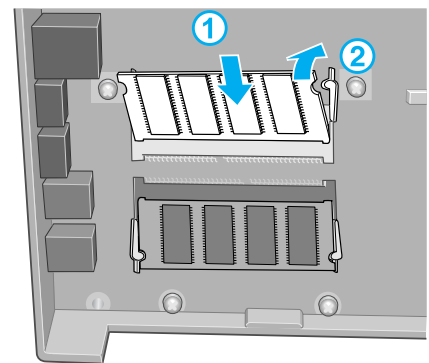
台座部全体を上に持ち上げ、底面から台座部を取り外します。

5 ● RAM モジュールを取り付けるとき

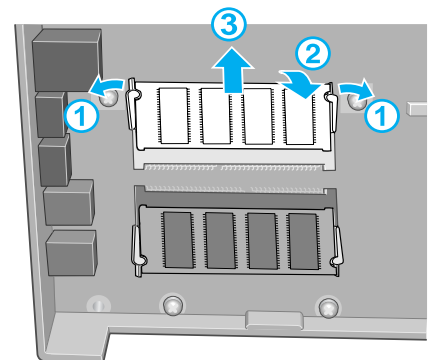
① RAMモジュールを斜めから挿し込みます。

② カチッと音がするまで倒します。

お知らせ

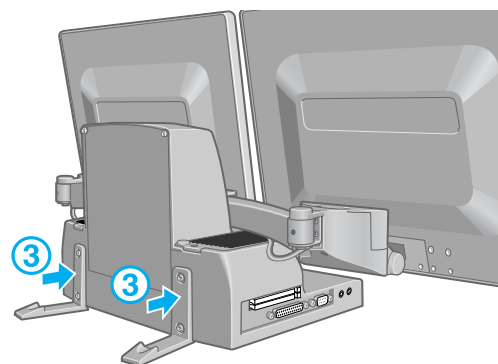
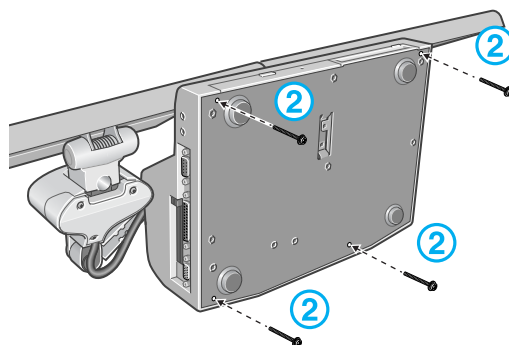
内蔵メモリーと増設するRAMモジュールの容量の合計で512Mバイト*1まで使用できます。

*1 推奨 RAM モジュール(256M バイト)を使用した場合。

● RAM モジュールを取り外すとき

左右のフックを外側に広げ、ゆっくりとスロットから取り出します。

6 台座部を元どおりに取り付ける

① 台座部を元どおり取り付け、通風孔部分を上からしっかりと押します。

② 3で取り外したネジ（長いネジ4つ）を底面に取り付けます。

③ <ダブルディスプレイモデルのみ>
転倒防止金具を取り付けます。

LAN 機能

本機は LAN 機能を内蔵しているため、LAN カードなどを使用することなく、ネットワークコンピューターとして使うことができます。

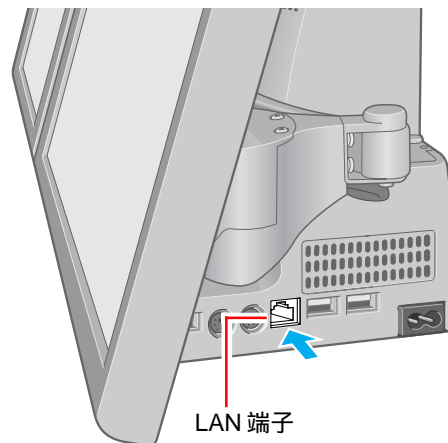
接続･設定する

1 スタンバイ・休止状態機能を使わず操作を終わる

2 ケーブルを接続する

市販の LAN ケーブルで本機とネットワークシステム（サーバー、HUBなど)を接続します。

お願い

- **ネットワークを正常に動作させるために 100 m 未満のカテゴリー5以上のツイストペアケーブルを使用してください。**
- **コネクター部分にカバーが付いているLANケーブルは、接続できない場合があります。事前にご確認ください。**

3 電源を入れる

**「Panasonic」起動画面が表示されているときに F2 を押して、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「LAN」が「有効」に設定されていることを確認してください。
(工場出荷時は、「有効」に設定されています。)**

お知らせ

工場出荷時の状態で、LAN 機能は有効になっています。

4 プロトコル等の各種設定を行う

詳しくはネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
以下の「お願い」を必ずお読みください。

お願い

- ネットワーク機能をお使いになる場合、スタンバイ・休止状態機能は使用しないでください。
  データが正しく送受信できないことがあります。
  データの転送中などでもタイムアウト機能が働き、自動的にスタンバイ・休止状態に入ることがありますので、タイムアウト機能を無効にしてください。
- ネットワークコンピューターとして使う場合、用途に応じてその他いくつかの設定が必要となります。詳しくはネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

お知らせ

- ハブユニットのリンクランプが点灯せず、ネットワーク機能が使えない場合:
  1. [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。
  2. [ネットワークアダプタ]を選び、内蔵のネットワークアダプターをダブルクリックする。
  3. [詳細設定]を選ぶ。
  4. 「プロパティ」で「Link Speed/Duplex Mode」を選び、「値」をお使いのネットワーク環境にあった通信速度に設定する。
  5. [OK]を選び、「デバイスマネージャ」画面で❎を選ぶ。

LAN Boot 機能

LAN 上のサーバーから起動可能な OS を探して、起動させる機能です。
工場出荷時の設定では、「LAN Boot 機能」は「有効」に設定されています。

LAN Boot機能を設定する（有効または無効にする）

1 セットアップユーティリティを起動する
2 [→] [←] で「詳細」メニューを選ぶ
3 [↑] [↓] で「LAN Boot 機能」 を選び、[Enter] を押す
4 ●有効にするとき
「有効」を選んで [Enter] を押す
●無効にするとき
「無効」を選んで [Enter] を押す
5 [F10] を押し、「はい」を選ぶ

LAN Boot機能を「有効」に設定したときは、必要に応じて起動メニューでLANの優先順位を上位に設定してください。

LAN Wake Up 機能

LAN Wake Up 機能により、ネットワーク上のコンピューターを使ってスタンバイおよび休止状態から起動することができます。

● LAN Wake Up 機能は、以下の場合は動作しません。

- 4秒間電源スイッチを押して電源を切った場合
- パスワード入力に失敗して、再びスタンバイ状態、休止状態、電源オフ状態になった場合

LAN Wake Up 機能の設定方法：

1. [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]を選ぶ。
2. [ネットワークアダプタ]の内蔵のネットワークアダプターをダブルクリックする。
3. [電源の管理]を選び、「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」および「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」にチェックマークを付け、[OK]を選んで、「デバイスマネージャ」画面で右上の×を選んで閉じる。
   - 再度クリックしてチェックマークを外すと無効になります。
   - [コントロールパネル] - [電源の管理] - [詳細]の「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けないでください。

プリンター

プリンターを使う

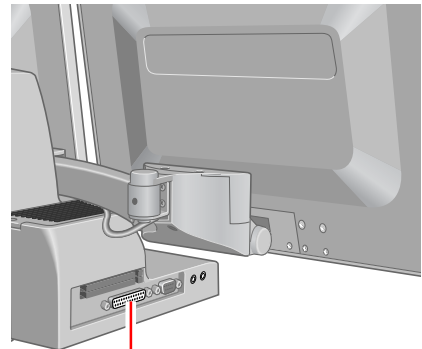
1 スタンバイ・休止状態機能を使わず操作を終わる

2 プリンターを本機のパラレルコネクターに接続する

パラレルコネクター

3 プリンター、本機の順に電源を入れる

4 プリンターを設定する

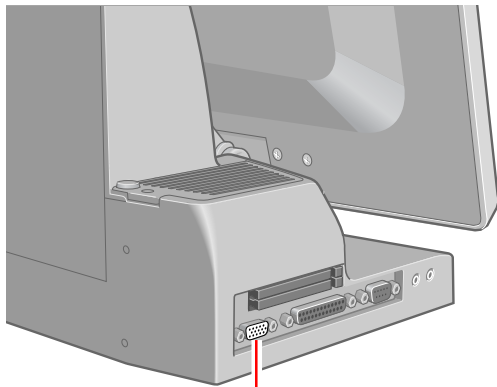
[コントロールパネル]の[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選び、プリンターのアイコンを選んで[ファイル]-[通常使うプリンタに設定]を選びます。
接続したプリンターのアイコンがない場合は、[ファイル]-[プリンタの追加]を選び、ドライバープログラムの設定を行います。プリンターに付属の取扱説明書または画面に従って操作してください。

お知らせ

- ●プリンターに付属のドライバーディスクが必要になる場合があります。
- ●ネットワークに接続されているプリンターを使う場合は、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
- ●USB プリンターを使う場合 ： ☞ 『USB 機器』

<シングルディスプレイモデルのみ>

外部ディスプレイ

1 スタンバイ・休止状態機能を使わず操作を終わる

2 外部ディスプレイを本機の外部ディスプレイコネクターに接続する

お知らせ

●外部ディスプレイの設定・準備については、外部ディスプレイに付属の取扱説明書をお読みください。

3 外部ディスプレイ、本機の順に電源を入れる

<シングルディスプレイモデルのみ>

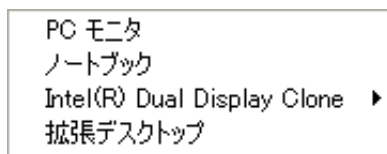
外部ディスプレイ

ディスプレイの表示先は、以下の手順で変更することができます。

1 タスクトレイの(Intel(R) Extreme Graphics 2 for Mobile)を選ぶ。

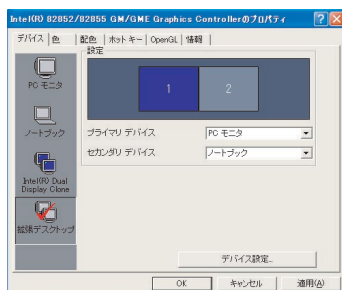
2 [グラフィックオプション] - [出力先]を選ぶ。

3 表示先を選ぶ。

PC モニタ
ノートブック
Intel(R) Dual Display Clone
拡張デスクトップ

PC モニタ：　外部ディスプレイのことです。

ノートブック：　コンピューター本体のディスプレイのことです。

Intel(R) Dual Display Clone：コンピューター本体のディスプレイと外部ディスプレイの両方に同じ画面を表示します。

拡張デスクトップ：　コンピューター本体のディスプレイと外部ディスプレイを連続した表示領域として使うことです。本体のディスプレイと外部ディスプレイとの間で、ウィンドウのドラッグ移動などができます。以下の方法で設定してください。

1. [Intel(R) Extreme Graphics]画面を表示する。
   [スタート] - [コントロールパネル]を選んで、左側の[関連項目]の[コントロールパネルのその他のオプション] - [Intel(R) Extreme Graphics] - [デバイス]を選ぶ。
2. [拡張デスクトップ]を選んで、「プライマリデバイス」と「セカンダリデバイス」を設定する。
   色数や画面領域（解像度）を設定する場合は、[画面のプロパティ]の[設定]で行ってください。
3. [OK]を選ぶ。
   確認のメッセージが表示されたら、[OK]を選んでください。

お知らせ

- アプリケーションソフトによっては、拡張デスクトップモードを使用できない場合があります。
- 最大化ボタンを選ぶと、どちらか一方のディスプレイに最大表示されます。
- 最大化したウィンドウをもう一方のディスプレイに移動することはできません。
- プライマリデバイス([1])とセカンダリデバイス([2])を変更するときは、必ず以下の項目で変更してください。他の方法で変更すると、ウィンドウが正しく表示されない場合があります。
  [スタート] - [コントロールパネル] - [コントロールパネルのその他のオプション] - [Intel(R) Extreme Graphics] - [デバイス] - [拡張デスクトップ]

外部ディスプレイ

使用上のお願い

●起動したアプリケーションソフトが画面に表示されないとき

アプリケーションソフトが外部ディスプレイにある状態、または外部ディスプレイでそのアプリケーションソフトを終了した後で、拡張表示位置を変更したり拡張デスクトップモードを終了したりすると、次に起動したときにアプリケーションソフトが画面に表示されない場合があります。
この場合は、拡張表示位置を変更前の状態に戻すか、再度拡張デスクトップモードに設定するなどして、アプリケーションソフトをコンピューター本体のディスプレイに移動した後、拡張表示位置を変更、または拡張デスクトップモードを終了してください。

● イメージの焼き付き防止

イメージが外部ディスプレイに焼き付くことを避けるため、外部ディスプレイを使わないときはディスプレイの電源を切ってください。

● 壁紙、アイコン位置がずれるとき

●壁紙
壁紙を設定し直してください。

●アイコン
デスクトップ上で右クリックし、[アイコンの整列]-[アイコンの自動整列]をクリックして、アイコンを整列してください。

●マウスポインターにアニメーションポインターを使うとき

スタンバイ・休止状態からリジュームしたときにエラーが発生することがあります。この場合は、次の手順でマウスポインターを標準のポインターに変更してください。

1. 「マウスのプロパティ」画面を表示する。
   [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [マウス]をクリックする。
2. [ポインタ]をクリックする。
3. [デザイン]の中から[(なし)]をクリックして、[OK]をクリックする。

USB 機器

プリンター、イメージスキャナーなどUSB 対応のいろいろな周辺機器を使用することができます。

お願い

- レガシーUSB機器を使用する場合:
  セットアップユーティリティの「詳細」メニューの「レガシーUSB」を「無効」にしている場合は、「有効」に設定してください。その後、レガシーUSB機器を取り付けてください。
  レガシーUSB機器とは、電源を入れた後、Windowsが起動していない状態でも動作するUSB機器（マウスやキーボードなど）のことです。
- すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。

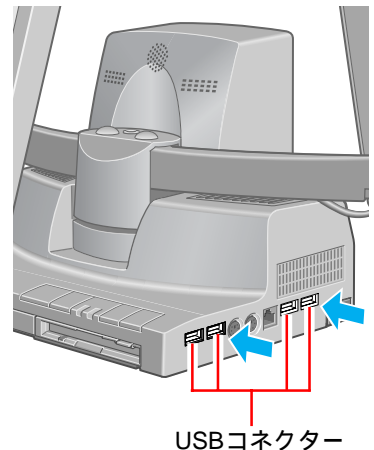
USB 機器の取り付け・取り外し

USB 機器を取り付ける

1 USB 機器を本機の USB コネクターに接続する

詳しくはUSB 機器に付属の取扱説明書をお読みください。

お知らせ

- USB機器は本体の電源を切らなくても取り付け／取り外しができます。
- USB 機器を接続した状態では、スタンバイ・休止状態機能が正常に動作しない場合があります。また、コンピューターが正常に起動しなくなった場合はUSB 機器を取り外し、再起動してください。
- 機器によっては、USB HUB に接続するのではなく、本機の USB コネクターに直接接続しないと動作しないものがあります。
- USB 機器を抜き挿しすると、デバイスマネージャーに が表示されて、正しく認識されないことがあります。その場合は、再度抜き挿ししてください。

USB 機器を取り外す

お願い

- スタンバイ・休止状態のとき、USB 機器を取り外さないでください。
- 開いているファイルなどはすべて閉じてください。

1 タスクバーの をダブルクリックし、取り外す機器を選んで「停止」を選ぶ

「ハードウェアデバイスの停止」画面で[OK]を選びます。

（電源を切った状態で取り外す場合または が表示されていない場合、この手順は不要です。）

2 USB 機器を取り外す

セットアップユーティリティ

起動する

1 電源を入れる、または再起動する

2 「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押す
[パスワードを入力してください]が表示されたらパスワードを入力してください。

お知らせ

- 詳しくは F1 を押して「ヘルプ」を参照してください。
- セットアップユーティリティを終了するとき：『終了メニュー』

パスワードについて

●スーパーバイザーパスワードを入力すると ...

セットアップユーティリティのすべての項目が選択できます。

●ユーザーパスワードを入力すると ...

スーパーバイザーパスワードやシリアルポートなど､セットアップユーティリティの詳細設定の変更を防止するため､以下の内容が制限されます｡(ユーザーパスワードは､スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます｡)

- 「詳細」メニューのすべての項目が選択できません。
- 「セキュリティ」メニューの「ユーザーパスワード設定」のみが選択できます。
  (「ユーザーパスワード保護」が「保護する」に設定されている場合､「セキュリティ」メニューのすべての項目が選択できません｡)
- 「終了」メニューの「デフォルト設定する」が表示されません。
- 「終了」メニューの「設定を戻す」が選択できません。
- 工場出荷時の設定に戻すための F9 キーが無効になります。
- すべての項目を選択できるようにするには､[パスワードを入力してください]が表示されたら､スーパーバイザーパスワードを入力してください。

キー操作について

キー	操作
F1 :	ヘルプ情報の表示
Enter :	サブメニューの表示
Esc :	「終了」メニューの表示
← → :	メニュー間のカーソル移動
↑ ↓ :	項目間のカーソル移動
F5 F6 :	設定値間のカーソル移動
F9 :	工場出荷時の設定（パスワードを除く）にする セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合、このキーは無効です。
F10 :	設定を保存して終了

情報メニュー

言語(Language):	日本語 (Japanese)
機種品番:	CF-82xxxx
製造番号:	xxxxxxxxxx
CPU タイプ:	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
CPU スピード:	x.xx GHz
BIOS :	Vx.xxLxx
電源コントローラー:	Vx.xxLxx
メモリーサイズ:	xxx MB
プライマリー　マスター:	xx GB
セカンダリー　マスター:	CDドライブ[*1]

[*1] CDドライブ内蔵モデルのみ

設定項目

（___:工場出荷時の設定）

言語(Language)	English 日本語 (Japanese)

セットアップユーティリティの言語を選択します。

メインメニュー

システム時間:	[xx:xx:xx]
システム日付:	[xxxx/xx/xx]

詳細メニュー

シリアルポート:	[自動]
パラレルポート:	[自動]
モード:	[ECP]
カードバスコントローラー:	[有効]
LAN:	[有効]
LAN Boot機能:	[有効]
レガシーUSB:	[有効]

お知らせ

セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合、「詳細」メニューのすべての項目が選択できません。

設定項目　（＿＿:工場出荷時の設定）

項目				
シリアルポート	無効	有効	自動	
I/O IRQ*1	3F8/IRQ4	2F8/IRQ3		
パラレルポート	無効	有効	自動	
モード*2	単方向	双方向	EPP	ECP
I/O IRQ*2	378/IRQ7	278/IRQ5		
カードバスコントローラー	無効	有効		
LAN	無効	有効		
LAN Boot機能*3	無効	有効		
レガシーUSB*4	無効	有効		

*1 「I/O IRQ」は、「シリアルポート」が「有効」に設定されているときのみ表示。
*2 「パラレルポート」の設定によって表示内容が異なります。（☞下記）
*3 起動時に LAN 上のサーバーから起動可能な OS を探し、起動させる機能です。
*4 レガシー USB 機器とは、Windows が起動していない状態でも動作する USB 機器（マウスやキーボードなど）のことです。
<フロッピーディスクドライブ・CD ドライブを内蔵していないモデルの場合>
USB フロッピーディスクドライブまたは USB CD/DVD ドライブから起動する場合は、「有効」に設定していないと起動できません。

パラレルポートの表示内容

パラレルポート	モード	I/O IRQ
無効	表示されない	表示されない
有効	表示	表示
自動	表示	表示されない

セキュリティメニュー

起動時のパスワード:	[有効]
▶スーパーバイザーパスワード設定:	[Enter]
Setup Utility表示:	[有効]
Boot First Menu:	[有効]
ハードディスク保護:	[無効]
ユーザーパスワード保護:	[保護しない]
▶ユーザーパスワード設定:	[Enter]
フロッピー操作:	[有効][*1]
CD操作:	[有効][*1]

[*1] ＜フロッピーディスクドライブ・CD ドライブ内蔵モデルのみ＞
この項目が表示されます。

お知らせ

セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合：
- 「ユーザーパスワード設定」のみが選択できます。
- 「ユーザーパスワード保護」が「保護する」に設定されている場合、「セキュリティ」メニューのすべての項目が選択できません。

設定項目

（＿＿:工場出荷時の設定）

項目	設定	
起動時のパスワード	無効	有効
スーパーバイザーパスワード設定	サブメニュー表示	
Setup Utility表示	無効	有効
Boot First Menu	無効	有効
ハードディスク保護[*2]	無効	有効
ユーザーパスワード保護	保護しない	保護する
ユーザーパスワード設定[*3]	サブメニュー表示	
フロッピー操作[*4]	無効	有効
CD操作[*4]	無効	有効

[*2] スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。
[*3] スーパーバイザーパスワードが設定されているとき、またはスーパーバイザーパスワードやユーザーパスワードを設定していても「ユーザーパスワード保護」が「保護しない」に設定されているとき、選択できます。ユーザーパスワードを削除すると、セットアップユーティリティを起動するためには、スーパーバイザーパスワードが必要になります。
[*4] ＜フロッピーディスクドライブ・CDドライブ内蔵モデルのみ＞
この項目が表示されます。

起動メニュー

+ フロッピードライブ*1*2
+ ハードディスクドライブ*1
CD ドライブ*3
LAN

*1 フロッピードライブ、ハードディスクドライブを選んで Enter を押すと、接続されている機器が表示されます。Ctrl+Enter を押すと、すべて表示されます。もう一度 Enter または Ctrl+Enter を押すと、表示がもとに戻ります。
*2 ＜フロッピーディスクドライブを内蔵していないモデルの場合＞
別売りのフロッピーディスクドライブ(CF-VFDU03JS)を接続した場合のみ「＋」が表示され、上記「*1」と同じ操作ができます。
*3 ＜CDドライブを内蔵していないモデルの場合＞
別売りのCD/DVDドライブを接続した場合のみ、有効となります。

工場出荷時の設定は、[フロッピードライブ]→[ハードディスクドライブ]→[CDドライブ]→[LAN]の順です。

- 優先順位を1つ上げる場合は、↑ ↓ でデバイスを選択して F6 を押す。
- 優先順位を1つ下げる場合は、↑ ↓ でデバイスを選択して F5 を押す。

お知らせ

- オペレーティングシステムを起動するデバイスは、コンピューター起動時にも選択することができます。電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されているときに Esc を押すと、デバイスの選択画面が表示されます。「起動」メニューの設定を変更すると、選択画面の表示も変更されます。
(取扱説明書『操作を始める / 終わる』)

終了メニュー

設定を保存して終了 設定を保存しないで終了 デフォルト設定*1 設定を戻す 設定を保存する ハードディスク リカバリー／消去*2

*1 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合、この項目は表示されません。

*2 ＜フロッピーディスクドライブ・CDドライブを内蔵していないモデルのみ＞
この項目が表示されます。ただし、ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合は表示されません。

設定項目

設定を保存して終了	設定内容を保存して終了する
設定を保存しないで終了	設定内容を保存しないで終了する
デフォルト設定	工場出荷時の設定にする セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合、この項目は表示されません。
設定を戻す	変更前の設定に戻す セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合、この項目は選択できません。
設定を保存する	設定内容を保存する
ハードディスク リカバリー／消去	工場出荷時の設定にする またはハードディスクの内容を消去する 実行する前に、必ず『取扱説明書』の「再インストールのしかた」または「ハードディスクの内容をすべて消去する」をお読みください。

技術情報

ネットワーク接続や通信ソフトウェアについて

ネットワーク環境でお使いの時（通信ソフトウェア使用中など）に、省電力機能が働くと、ネットワーク接続が切断されてエラーになることがあります。これらが発生したときにはコンピューターを再起動してください。
ネットワーク環境でお使いの時は、省電力のタイムアウト機能を無効に設定してください。また、省電力のため画面が消えた状態やスタンバイ・休止状態に入る場合は、通信ソフトウェアを終了してください。

＜フロッピーディスクドライブ内蔵モデルのみ＞

3 モードドライバーのインストール

3 モードドライバーは、1.2 M バイトのフロッピーディスクを使用するために必要です。工場出荷時および再インストールを行った後は、3 モードドライバーはインストールされていません。

お知らせ

3モードドライバーは､コンピューターの管理者の権限がなければインストールおよびアンインストールできません。

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。
2 [フロッピーディスクコントローラ]-[標準フロッピーディスクコントローラ]を選ぶ。
3 [ドライバ]-[ドライバの更新]を選ぶ。
4 [一覧または特定の場所からインストールする]を選び､[次へ]を選ぶ。
5 [検索しないで、インストールするドライバを選択する]を選び､[次へ]を選ぶ。
6 [ディスク使用]を選び、ファイルのコピー元に[c:\util\drivers\3mode]と入力して､[OK]を選ぶ。
7 [Panasonic 3-mode floppy controller]を選び､[次へ]を選ぶ。
8 [はい]を選び､[完了]を選ぶ。
9 [Panasonic 3-mode floppy controllerのプロパティ]画面で[閉じる]を選ぶ。
10 「デバイスマネージャ」画面で[フロッピーディスクドライブ]-[フロッピーディスクドライブ]を選ぶ。
11 [ドライバ]-[ドライバの更新]を選ぶ。
12 [一覧または特定の場所からインストールする]を選び､[次へ]を選ぶ。
13 [検索しないで、インストールするドライバを選択する]を選び､[次へ]を選ぶ。
14 [ディスク使用]を選び、ファイルのコピー元に[c:\util\drivers\3mode]と入力して､[OK]を選ぶ。
15 [Panasonic 3-mode floppy disk driver]を選び､[次へ]を選ぶ。
16 [続行]を選び､[完了]を選ぶ。
17 [フロッピーディスクドライブのプロパティ]画面で[閉じる]を選ぶ。

お知らせ

3 モードドライバーをインストールしても、フロッピーディスクを1.2 M バイト形式でフォーマットすることはできません。

● 3 モードドライバーのアンインストール（標準のドライバーに戻すとき）

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。
2 [フロッピーディスクドライブ]-[フロッピーディスクドライブ]を選ぶ。
3 [ドライバ]-[ドライバの更新]を選ぶ。
4 [一覧または特定の場所からインストールする]を選び、[次へ]を選ぶ。
5 [検索しないで、インストールするドライバを選択する]を選び、[次へ]を選ぶ。
6 [フロッピーディスクドライブ]を選び、[次へ]を選ぶ。
7 [完了]を選ぶ。
8 [フロッピーディスクドライブのプロパティ]画面で[閉じる]を選ぶ。
9 「デバイスマネージャ」画面で[フロッピーディスクコントローラ]-[Panasonic 3-mode floppy controller]を選ぶ。
10 [ドライバ]-[ドライバの更新]を選ぶ。
11 [一覧または特定の場所からインストールする]を選び、[次へ]を選ぶ。
12 [検索しないで、インストールするドライバを選択する]を選び、[次へ]を選ぶ。
13 [標準フロッピーディスクコントローラ]を選び、[次へ]を選ぶ。
（2 つ以上表示される場合は、推奨ドライバ側を選んでください。）
14 [完了]を選ぶ。
15 [標準フロッピーディスクコントローラのプロパティ]画面で[閉じる]を選ぶ。

エラーコードが表示されたら

電源を入れたとき、下記のエラーコードやメッセージが表示された場合は、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、または下記以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード／メッセージ	対 処
Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key	● フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされている場合は、フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押してください。
0211：キーボードエラーです。	● キーボードが故障している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
0251：システムCMOSのチェックサムが正しくありません。デフォルト値が設定されました。	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、内容が変更された場合に起こるエラーです。 ● セットアップユーティリティを起動し、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
0271：日付と時刻の設定を確認してください。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ● セットアップユーティリティを起動し、日付と時刻を正しく設定してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
0280：起動を3回失敗しました。 －デフォルト値を使用して起動します。	繰り返し起動に失敗したため、セットアップユーティリティをデフォルト設定に変更して起動しました。 ● セットアップユーティリティを起動し、デフォルトの設定（工場出荷時の値）にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
<F1>キーを押すと継続、<F2>キーを押すとセットアップを起動します。	● エラー内容をメモした後、(F2) を押してセットアップユーティリティを起動してください。設定を確認し、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
Operating System not found	起動しようとしたフロッピーディスクやハードディスクにOSが正しくインストールされていません。 ● フロッピーディスクドライブに起動できないフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。 ● ハードディスクから起動できない場合は、セットアップユーティリティを起動し、「情報」メニューでハードディスクが正しく認識されているか確認してください。 認識されている場合は、再インストールを行ってください。 認識されていない場合は、ご相談窓口にご相談ください。 ● USBコネクターに機器を接続している場合は、取り外すか、セットアップユーティリティを起動し、「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「無効」に設定してください。

●セットアップユーティリティの起動方法

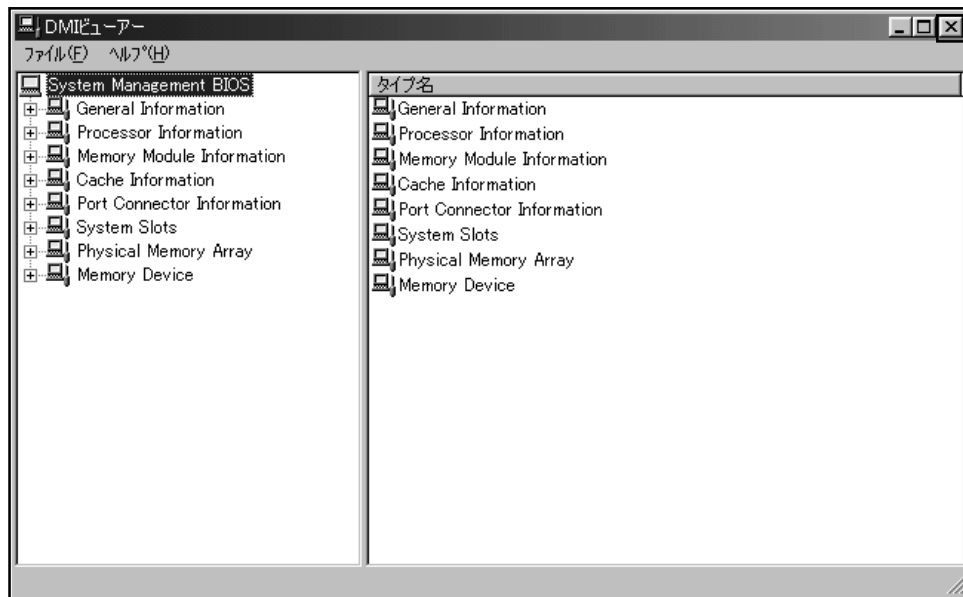
1 コンピューターを再起動する。
2 起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に (F2) を押す。

DMI ビューアー

本機はDMI(Desktop Management Interface)の規格に準拠しています。
CPU やメモリーをはじめ、本機がサポートしているシステムの情報を知りたいときに使います。

DMI ビューアーを起動する

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[DMI ビューアー]を選ぶ

以下のような画面が表示されます。
項目を選ぶと詳細情報を表示します。

情報ファイルを保存する

表示している内容をテキスト形式（.txt）にファイル保存することができます。
DMI ビューアーを起動し、保存したい情報を表示します。

1 ●表示されている項目を保存する場合
[ファイル]メニューから[表示中のデータを保存]を選ぶ。

●すべての項目を保存する場合
[ファイル]メニューから[すべてのデータを保存]を選ぶ。

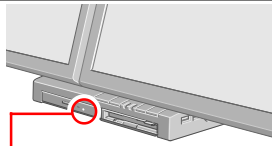
2 ファイル名（およびフォルダー）を指定し、[保存]を選ぶ

こんなときは

トラブルが発生した場合は、以下の方法を試してください。
アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各アプリケーションソフトのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。PC情報ビューアーを使って、コンピューターの使用状態などを確認することもできます。

●電源を入れたとき

電源表示ランプが点灯しない	●電源コードが、正しく接続されていますか？ ●電源コードを本体から取り外し、接続し直してください。
USB機器を接続していると、本機が起動しない	● 一部のUSB機器を接続していると本機が起動しない場合があります。USB機器を外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「無効」に設定してください。
「パスワードを入力してください」が表示された	● スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。 パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
システム起動エラーが表示された	『エラーコードが表示されたら』
Windowsの起動および動作が極端に遅い	● セットアップユーティリティを起動してください。 (『セットアップユーティリティ』) F9 を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻した後、再度各種設定をしてください。 （動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。）
日付と時刻が正しく表示されない	● 次の項目を使って訂正してください。 [スタート]-[コントロールパネル]-[日付、時刻、地域と言語のオプション]-[日付と時刻] ● 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）が消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。 ● LAN（ネットワーク）に接続している場合は、サーバーの日付／時刻を確認してください。 ● 西暦2100年以降は、日付と時刻が正しく認識されません。
スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、「パスワードを入力してください」が表示されない	● セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはセットアップユーティリティで設定したパスワード入力は要求されません。代わりに、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定することができます。 [スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で変更するアカウントを選び、パスワードを設定し、[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]の「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。
コンピューターの管理者のパスワードを忘れた	● 以下の手順でパスワードを設定し直してください。 パスワードリセットディスク（『取扱説明書』「はじめて使うとき」）を作成していた場合は、パスワードの入力に失敗すると、メッセージが表示されます。メッセージに従って、パスワードを再設定してください。 パスワードリセットディスクを作成していなかった場合は、再インストールした後、Windowsをセットアップしてパスワードを設定し直してください。
ハードディスクから異音がする	● 長期間使用しなかった場合、起動時に異音がすることがあります。異音がしても、Windows が正常に起動すれば問題はありません。Windows が正常に動作しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

困ったときのQ&A

●電源を入れたとき

その他の問題が起きる場合	● セットアップユーティリティを起動し、(F9) を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻してください。 ● 周辺機器を取り外してください。 ● 次の手順で、ディスクのエラーチェックを行ってください。 1 Cドライブのプロパティを表示する。 [スタート]-[マイコンピュータ]の[ローカルディスク(C:)]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選ぶ。 2 [ツール]から[チェックする]を選ぶ。 3 [チェックディスクのオプション]で必要に応じて項目を選び、[開始]を選ぶ。 ● 起動時、「Panasonic」起動画面が消えたときに (F8) を押し続け、「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら指を離し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。

●ハードディスクの操作

ハードディスクのデータの読み出しも書き込みもできない	●ドライブやファイルの指定に誤りがないか確認してください。 ●ハードディスクの空き容量は足りていますか？ ●ハードディスクの内容が壊れている場合があります。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。

●ディスクの操作＜フロッピーディスクドライブ・CDドライブ内蔵モデルのみ＞

フロッピーディスクを初期化する方法がわからない	●[マイコンピュータ]-[3.5インチFD(A:)]-[ファイル]-[フォーマット]を選び、ディスクの容量やフォーマットの種類を確認してフォーマットを開始してください。 ●1.2 Mバイトおよび720 Kバイトのフォーマットを行うことはできません。
フロッピーディスクのデータの読み出しも書き込みもできない	●フロッピーディスクは正しくセットされていますか？ ●フロッピーディスクは正しく初期化(フォーマット)されていますか？ ●セットアップユーティリティで、「フロッピー操作」を「有効」に設定していますか？ ●フロッピーディスクの内容が壊れている場合があります。
フロッピーディスクへの書き込みができない	フロッピーディスクが書き込み禁止になっていませんか？
1.2 Mバイトフロッピーディスクで読み出しも書き込みもできない	3モードドライバーはインストールされていますか？ (インストール方法 ☞ 『3モードドライバーのインストール』)
CDでトラブルが発生した	指定の方法 (☞ 『CDドライブ』) で、レンズやCDのクリーニングを行ってください。
アクセスランプが点灯しない。	CDは正しくトレイにセットされていますか？
CDの再生や読み出しができない。	●CDが変形していたり、傷や汚れが付いていませんか？ ●セットアップユーティリティで、「CD操作」を「有効」に設定していますか？
突然、MPEG画像が残った青い画面になった	CDドライブから、MPEGのCDを取り出しませんでしたか？ CDをセットして (Enter) を押してください。
CDドライブの振動が大きい	変形したCDや、ラベルをはったCDを使用していませんか？
CDが取り出せない	コンピューターの電源が入っていますか？ 電源が入っていない状態でCDを取り出すには、ゼムクリップを引き伸ばしたものなどをエマージェンシーホールに挿し込んで、トレイを引き出してください。 エマージェンシーホール
上記以外の場合	他のドライブやメディアで試してみてください。

●画面表示

画面が消えた、または画面に何も表示されない	● 省電力機能によって、ディスプレイの表示が消えることがあります。いずれかのキーを押すか、マウスを操作すると元に戻ります。その際、選択に使うキー（Enter、Space、Esc、Y、N や数字キーなど）は使わず、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。 ● 省電力機能によって、スタンバイ（電源表示ランプが緑色点滅する）・休止状態（電源表示ランプ消灯）に入ることがあります。
残像が現れる	● しばらくイメージを表示させていると、残像となることがあります。別の画面が表示されると残像は消えます。
マウスカーソルが動かない	● マウスを正しく接続し､キーボードで操作してコンピューターを再起動してください。 キーボードを使って再起動するとき [Windows]、U の順に押し、→←↑↓ で[電源を切る]を選んで Enter を押す。 ● キーボードで操作できない場合は、「応答がない」をご覧ください。 （☞ 28 ページ）
画面に緑、赤、青のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	● カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（緑、赤、青色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下）
画面が乱れる	画面の色数を変更した場合は再起動してください。
タスクトレイのアイコンが隠れて見えない	● タスクトレイの[＜]を選ぶと、隠れていたアイコンが表示されます。 ● 常にすべてのアイコンを表示しておきたい場合は、タスクバーを右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選んで、[タスクバー]の[アクティブでないインジケータを隠す]のチェックマークを外してください。

●画面表示＜シングルディスプレイモデルのみ＞

電源を入れた後､外部ディスプレイの画面に何も表示されない	● 外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ● 外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ● 外部ディスプレイは正しく設定されていますか？
外部ディスプレイに正しく表示されない	● 外部ディスプレイが省電力機能に対応していない場合、省電力のためにディスプレイの電源を切る状態に入ると、外部ディスプレイに正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください。
外部ディスプレイとコンピューター本体のディスプレイの同時表示に設定しているとき、片方の画面にしか表示されない	● 以下の項目で表示先を変更して試してください。 [スタート]-[コントロールパネル]-[コントロールパネルのその他のオプション]-[Intel(R) Extreme Graphics]-[デバイス]を右ボタンで選び､[プロパティ]を選ぶ。 ● [コマンドプロンプト]を起動しているとき、Alt + Enter を押して全画面表示にすると、片方の画面しか表示されません。Alt + Enter を押してウィンドウ表示に戻すと両方の画面に表示されます。

●画面表示<ダブルディスプレイモデルのみ>

2画面最大化ができない	「画面のプロパティ」の[設定]で、両方のディスプレイの色、画面領域、水平位置が同じに設定してあるか確認してください。2画面最大化するには、すべて同じに設定しておく必要があります。
ウィンドウのサイズが変わらない	(最大化)や(元のサイズに戻す)が表示されていないウィンドウやプロパティ画面は、ディスプレイアシスト機能でも最大化やサイズ変更されません。
ディスプレイ間のカーソル移動ができない	「画面のプロパティ」の[設定]で、モニター番号の配置とプライマリディスプレイの位置が正しく設定されているか確認してください。 (『ダブルディスプレイ』)
アイコンの位置が正しく表示されない	デスクトップ上を右ボタンでクリックし、[アイコンの整列]を選んでください。

●文字入力

日本語が入力できない	タスクトレイ上にあが表示されていますか?表示されていない場合は、日本語入力モードになっていません。半角/全角で日本語入力モードにしてください。
アルファベットをが大文字でしか入力できない	キーボードのCaps Lockランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合、大文字入力モードになっています。解除するには、Shift + Caps Lock を押します。
欧文特殊文字(ßàçïなど)や記号が入力できない	以下の手順で文字コード表を表示し、フォント名を指定して、入力したい文字を選んでください。 [スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[文字コード表]

●セットアップユーティリティ

[パスワードを入力してください]が表示された	ユーザーパスワードまたはスーパーバイザーパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
「ユーザーパスワード設定」が選択できない	●スーパーバイザーパスワードを設定してください。 ●すでにスーパーバイザーパスワードが設定されている場合、「ユーザーパスワード保護」を「保護する」に設定していると、選択できません。
●「詳細」メニューと「起動」メニューの項目が変更できない ●「セキュリティ」メニューの一部の項目が変更できない ●F9が動作しない ●「終了」メニューに「デフォルト設定」が表示されない	スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。

●周辺機器の接続

周辺機器が動作しない	●ドライバーをインストールしましたか？ ●機器メーカーに問い合わせしてください。 ●スタンバイ・休止状態からリジュームした後、マウス、PCカード、その他のデバイスが認識されないことがあります。この場合、コンピューターを再起動してください。 ●デバイスマネージャーで!が表示される場合は、機器を一度抜き挿ししてください。再び表示された場合は、再起動してください。 ●接続する機器によっては、コンピューターが機器の抜き挿しを認識しなかったり、正常に動作しない場合があります。 次の手順を行ってください。 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。該当の機器を選び、[電源管理]の「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」を選んでチェックマークを外す。(この項目がない場合もあります。)
印刷できない	●本機とプリンターは正しく接続されていますか？ ●プリンターの電源は入っていますか？ ●プリンターはオンライン状態になっていますか？ ●用紙がなかったり、つまったりしていませんか？ ●セットアップユーティリティで「パラレルポート」を「有効」または「自動」に設定していますか？ ●プリンターによっては、EPPまたはECPが動作しないことがあります。
シリアルコネクターに接続しているシリアル機器が動かない	●ケーブルは正しく接続されていますか？ ●シリアル機器のデバイスドライバーは動いていますか？ お使いのシリアル機器のマニュアルを参照してください。 ●シリアルコネクターとマウス端子の両方にマウスを接続していませんか？ ●セットアップユーティリティで、「シリアルポート」を「有効」または「自動」に設定していますか？
PCカードが使えない	●PCカードの方向を確認して正しくスロットに取り付けてください。 ●PC Card Standard規格に準拠したPCカードを使っていますか？ ●PCカードドライバーまたは他のデバイスドライバーをインストールした後は、必ずコンピューターを再起動してください。 ●PCカードで使われているI/Oポートなどのリソースが正しいか(競合していないか)確認してください。 ●セットアップユーティリティで「カードバスコントローラー」を「有効」に設定していますか？ ●PCカードに付属の取扱説明書をお読みください。または、PCカードの製造元にご相談ください。 ●OSに対応したドライバーがインストールされているか確認してください。
使えるRAMモジュールがわからない	☞『RAMモジュール』
RAMモジュールが認識されない	●RAMモジュールの方向を確認して正しいスロットに取り付けてください。 ●RAMモジュールの仕様を確認してください。(☞『RAMモジュール』)
割り込み要求(IRQ)、I/Oポートアドレス等、アドレスマップがわからない	[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]で[表示]メニューから[リソース(種類別)]を選ぶと、現在のそれぞれのアドレスマップを表示することができます。
USB機器が動作しない	●ドライバープログラムをインストールしましたか？ ●機器メーカーに問い合わせてください。

●ユーザーの簡易切り替え機能

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない	● ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。 ・アプリケーションソフトが正しく動作しない（PDFファイルが正しく印刷されないなど） ・画面の設定ができない このような場合は、簡易切り替え機能を使わずに、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

●ネットワーク

ネットワークに接続できない	●セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「LAN」を「有効」に設定していますか？ ●I/Oアドレス、割り込みレベル、メモリーアドレスは正しく設定されていますか？ 他の周辺機器と競合していないことを確認してください。 ●ハブとの接続に10BASE-T用ケーブルまたは100BASE-TX用ケーブルを使用していますか？ ●ハブユニットのリンクランプが点灯せず、ネットワークが使えない場合、ハブユニットにあわせた速度の設定を行ってください。（『LAN 機能』） ●ネットワークコンピューターとして使う場合、用途に応じてその他いくつかの設定が必要となります。詳しくは、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。 ●スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはコンピューターの再起動が必要な場合があります。 ●[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]-[ネットワークアダプタ]を選び、内蔵のネットワークアダプターのプロパティの[全般]-[デバイスの使用状況]が「このデバイスを使う（有効）」に設定されていますか？（工場出荷時は、「このデバイスを使う（有効）」に設定されています。）
電子メール、WWW、イントラネットが見えない（TCP/IP を用している場合）	●LANケーブルは正しく接続されていますか？ ●IPアドレスの設定、サブネットマスクの設定、デフォルトゲートウェイの設定を確認してください。
外部の WWW が見えない	●プロキシサーバーなどのアドレスを調べてください。 ●ネットワーク担当のシステム管理者に設定を確認してもらってください。

●終了時

Windowsが終了できない	● USB機器を接続している場合は、一度取り外してから試してください。 ● プロバイダーへの接続は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 通信の設定については、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。 ● LANは正しく設定されていますか?設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 LANの設定については、接続サービス会社(プロバイダー)や会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。 （『LAN 機能』）

●休止状態

「休止状態をサポートする」にチェックマークが付けられない	チェックマークを付けるには、「休止状態にするために必要なディスク領域」に空き領域が必要です。この領域を使用してしまった場合は、チェックマークを付けることができません。不要なファイルを削除するなどして空き領域を確保してください。「休止状態にするために必要なディスク領域」は、[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[休止状態]の手順で確認できます。

●再インストール＜フロッピーディスクドライブ・CDドライブを内蔵していないモデルのみ＞

セットアップユーティリティに「ハードディスク リカバリー/消去が表示されない	●ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動していませんか？ スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。 ●リカバリー用データ領域が削除されている可能性があります。 ご相談窓口にご相談ください。

●その他

応答がない	● MPEGファイル再生中に画面の切り替え（[コマンドプロンプト]の全画面表示など）を連続して行わないでください。 ● 入力待ち画面（起動時のパスワード入力画面など）などが別のウィンドウで隠れていませんか？ Alt + Tab で表示されている画面を確認してください。 ● Ctrl + Shift + Esc を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 電源スイッチを4秒以上押して電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、以下の項目でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再度インストールしてください。 [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]
Windows® Media Playerで動画ファイルを再生しようとすると「コーデックが必要」と表示され、再生できない	● 一部の動画ファイルでは、標準でインストールされていないコーデックを使用するものがあります。その場合は、インターネットに接続してから動画ファイルを再生すると、自動的にコーデックがダウンロードされて再生できるようになる場合があります。
デスクトップ上のWindows® Media Playerへのショートカットアイコンが表示されない	● [スタート]-[すべてのプログラム]からWindows® Media Playerを起動してください。また、デスクトップ上にアイコンをコピーすると、アイコンから起動できるようになります。
デスクトップ上にWindows® Media Playerへのショートカットアイコンが2つ表示される	● Windows® Media Playerの使用許諾に最初に同意したユーザーが制限ユーザーではありませんでしたか？ コンピューターの管理者が使用許諾に同意するまで2つのアイコンが表示されますが、どちらもお使いいただけます。
音がでない	●音量調整ボタンを押して音量を最小にしていたり、ミュートにしていませんか？ ●Windows Media Playerで音楽再生中にスタンバイ・休止状態機能を使うと、リジューム後再生が始まらない場合があります。この場合は、Windows Media Playerを起動し直してください。
＜CDドライブ内蔵モデルのみ＞音楽CDの音量が調整できない	[ボリュームコントロール]の「WAVE」で調整してください。

コンピューターの使用状態を確認する

PC情報ビューアーを使ってコンピューターの使用状態を確認し、ご相談窓口に相談されるときの情報として活用することができます。（コンピューターの管理者の権限でログオンしないと、一部「未検出」と表示される情報があります。）

● PC情報ビューアーを起動する

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[PC情報ビューアー]-[PC情報ビューアー]を選ぶ。
項目をクリックすると各項目の詳細情報が表示されます。
（PC情報ビューアーの画面は常に手前に表示されます。）

● 情報をファイルに保存する

表示している内容をテキスト形式（.txt）にファイル保存することができます。

1 PC情報ビューアーを起動し、保存したい情報を表示させる。
2 [保存]を選ぶ。
   - 表示されている項目を保存する場合
     「表示している情報だけ保存する」を選んで、[OK]を選ぶ。
     ウィンドウの外に隠れている部分も含めて保存できます。スクロール操作で表示位置をずらす必要はありません。
   - すべての項目を保存する場合
     「すべての情報を保存する」を選んで、[OK]を選ぶ。
3 フォルダーを指定し、ファイル名を入力して[保存]を選ぶ。

● 画面のコピーをファイルに保存する

表示している画面のコピーをビットマップ形式（.bmp）でファイル保存することができます。

1 保存したい画面を表示させる。
2 Ctrl + Alt + F8 を押す。
3 「画面のコピーを......保存しました」と表示されるので、[OK]を選ぶ。
   PC情報ビューアーの画面に隠れて[OK]が選べない場合は、ウィンドウを移動させてください。（PC情報ビューアーの画面は、常に手前に表示されます。）

   「マイドキュメント」フォルダーに「pcinfo.bmp」ファイルが作成されます。
   「pcinfo.bmp」ファイルがある場合は上書きされます。（「pcinfo.bmp」ファイルを読み取り専用や隠しファイルに設定している場合は、保存できません。）
   - 拡張子を表示するには、エクスプローラの[ツール]-[フォルダオプション]-[表示]を選び、[詳細設定]の[登録されている拡張子は表示しない]のチェックマークを外してください。

お知らせ

- 以下の操作で画面のコピーをファイルに保存することもできます。
  [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[PC情報ビューアー]-[画面コピー]
- 工場出荷時は、Ctrl + Alt + F8 を押すと画面のコピーをファイル保存できるように設定されていますが、以下の項目で変更することもできます。
  1 「PC情報ビューアー」を選ぶ。
    [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[PC情報ビューアー]を選ぶ。
  2 [画面コピー]を右ボタンで選んで、[プロパティ]の[ショートカット]を選ぶ。
  3 「ショートカットキー」にカーソルを移動させ、ショートカットに使うキーを押す。
- 色数は、256色で保存されます。
- 拡張デスクトップモードでお使いの場合
  プライマリデバイス側に表示している画面を保存します。